

第1-1表① 令和2年度診療費の算出表（入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護）
 （70歳未満の一般被保険者（未就学児除く））

		被保険者数（延べ数）	診療費（実績）	被保険者一人当たり額	診療費総額	備考
		人	千円	円	円	
平成29年度	○月～○月	① A036-A126-A127-A128の集計	⑪ C092-C461-C485-C509の集計/1000	⑮ $\left\{ \frac{\text{⑪}}{(\text{①} \div \text{〇})} \right\}$		
	○月～○月	② A036-A126-A127-A128の集計	⑫ C092-C461-C485-C509の集計/1000	⑯ $\left\{ \frac{\text{⑫}}{(\text{②} \div \text{〇})} \right\}$		
	計(年間)	③ (①+②)	⑬ (⑪+⑫)	⑰ $\left\{ \frac{\text{⑬}}{(\text{③} \div \text{12})} \right\}$		
平成30年度	○月～○月	④ A036-A126-A127-A128の集計	⑭ C092-C461-C485-C509の集計/1000	⑳ $\left\{ \frac{\text{⑭}}{(\text{④} \div \text{〇})} \right\}$		
	○月～○月	⑤ A036-A126-A127-A128の集計	⑮ C092-C461-C485-C509の集計/1000	㉑ $\left\{ \frac{\text{⑮}}{(\text{⑤} \div \text{〇})} \right\}$		
	計(年間)	⑥ (④+⑤)	⑯ (⑭+⑮)	㉒ $\left\{ \frac{\text{⑯}}{(\text{⑥} \div \text{12})} \right\}$		㉓実績による伸び率 ㉒/㉑
令和元年度	○月～○月	⑦ A036-A126-A127-A128の集計	⑰ C092-C461-C485-C509の集計/1000	㉔ $\left\{ \frac{\text{⑰}}{(\text{⑦} \div \text{〇})} \right\}$		
	○月～○月	⑧ (⑨-⑦)		㉕ $\text{㉔} \times \left[\frac{\text{㉒}}{\text{㉑}} \right]$		
	計(年間)	⑨ $\text{⑦} \times \left[\frac{\text{⑥}}{\text{④}} \right]$		㉖ (㉔ + ㉕)		㉗実績による伸び率 ㉖/㉑
令和2年度	計(年間)	⑩ $\text{⑨} \times \left[\frac{\text{⑩}}{\text{⑥}} \right]$		㉘ (注4) (㉖ × 伸び率) (伸び率) = $\sqrt{(\text{㉒} \times \text{㉓})}$	㉙ $\left[\text{㉘} \times \frac{\text{⑩}}{\text{12}} \right]$ (注5)	

(注1) この表は、退職被保険者等以外の者であって、70歳未満の者（未就学児を除く）について推計すること。
 (注2) この表は、入院、入院外、歯科、調剤、食事療養・生活療養、訪問看護を合算して作成すること。
 (注3) 被保険者一人当たり額は、円未満第4位を四捨五入し第3位まで算出し、それ以外の割合については、小数点以下第5位を四捨五入し第4位まで算出すること。
 (注4) 被保険者一人当たり額の伸び率は、過去3年の伸び率を使用する等、各保険者において実績を勘案した伸び率を使用すること。
 (注5) 算出された診療費総額に、令和2年度診療報酬改定率を乗じることが考えられる。

第1-1表② 令和2年度診療費の算出表（入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護）
（70歳未満の一般被保険者（未就学児除く））

		被保険者延べ数(人)	診療費 (実績・70歳未満の一般被保険者(未就学児除く))	被保険者一人当たり額			
		人	千円	円	円		
平成26年度	3月	① A036-A126-A127-A128の集計	⑦ C092-C461-C485-C509の集計/1000	3月	⑬ ⑦/(①÷月数) ×1000		
	4月～翌2月	② A036-A126-A127-A128の集計	⑧ C092-C461-C485-C509の集計/1000	4月～翌2月	⑭ ⑧/(②÷月数) ×1000		
	計(年間)	③ (①+②)	⑨ (⑦+⑧)	計(年間)	⑮ ⑨/(③÷月数) ×1000	A	選択年度2 - 選択年度1
平成30年度	3月	④ A036-A126-A127-A128の集計	⑩ C092-C461-C485-C509の集計/1000	3月	⑯ ⑩/(④÷月数) ×1000		
	4月～翌2月	⑤ A036-A126-A127-A128の集計	⑪ C092-C461-C485-C509の集計/1000	4月～翌2月	⑰ ⑪/(⑤÷月数) ×1000		
	計(年間)	⑥ (④+⑤)	⑫ (⑩+⑪)	計(年間)	⑱ ⑫/(⑥÷月数) ×1000	B	推計対象年度 - 選択年度2
令和2年度				3月	⑲ $[\frac{⑯ \times (⑯ \div ⑬)}{A}]^B \times C$	C	改定率(3月) H30改定率 × R1改定率 ÷ (H26改定率 × H28改定率) ^{2/4}
				4月～翌2月	⑳ $[\frac{⑰ \times (⑰ \div ⑭)}{A}]^B \times D$	D	R1改定率 ÷ (H28改定率 × H30改定率) ^{2/4}
				計(年間)	㉑ ⑲+⑳		

年度	月	被保険者数(推計値)(1か月)	1人当たり診療費	診療費総額	診療費総額(診療報酬改定率乗算後)
令和2年度	3月～翌2月	I	㉑	Ⅲ	Ⅲ × R2診療報酬改定率※

- (注1) この表は、退職被保険者等以外の者であって、70歳未満の者(未就学児を除く)について推計すること。
(注2) この表は、入院、入院外、歯科、調剤、食事療養・生活療養、訪問看護を合算して作成すること。
(注3) 被保険者一人当たり額は、円未満第4位を四捨五入し第3位まで算出し、それ以外の割合については、小数点以下第5位を四捨五入し第4位まで算出すること。
(注4) 被保険者一人当たり額の伸び率は、過去3年の伸び率を使用する等、各保険者において実績を勘案した伸び率を使用すること。
(注5) 令和2年診療報酬改定率※は確定計数時にお示しする予定。
(注6) C、Dの入力に際し、選択年度1を平成26年度、選択年度2を平成30年度とする場合、別添により示した数値を参考とすること。

第1-2表① 令和2年度診療費の算出表（入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護）
（一般未就学児）

		被保険者数（延べ数）	診療費（実績）	被保険者一人当たり額	診療費総額	備考
		人	千円	円	円	
平成29年度	〇月～〇月	① A126の集計	⑪ C509の集計/1000	⑮ $\left\{ \frac{⑪}{(① \div ①)} \right\}$		
	〇月～〇月	② A126の集計	⑫ C509の集計/1000	⑰ $\left\{ \frac{⑫}{(② \div ①)} \right\}$		
	計(年間)	③ (①+②)	⑬ (⑪+⑫)	⑳ $\left\{ \frac{⑬}{(③ \div 12)} \right\}$		
平成30年度	〇月～〇月	④ A126の集計	⑭ C509の集計/1000	㉑ $\left\{ \frac{⑭}{(④ \div ①)} \right\}$		
	〇月～〇月	⑤ A126の集計	⑮ C509の集計/1000	㉒ $\left\{ \frac{⑮}{(⑤ \div ①)} \right\}$		
	計(年間)	⑥ (④+⑤)	⑯ (⑭+⑮)	㉓ $\left\{ \frac{⑯}{(⑥ \div 12)} \right\}$		㉙実績による伸び率 ㉓/㉒
令和元年度	〇月～〇月	⑦ A126の集計	⑰ C509の集計/1000	㉔ $\left\{ \frac{⑰}{(⑦ \div ①)} \right\}$		
	〇月～〇月	⑧ (⑨-⑦)		㉕ $⑳ \times \left[\frac{㉒}{㉑} \right]$		
	計(年間)	⑨ $⑦ \times \left[\frac{⑥}{④} \right]$		㉖ (㉔ + ㉕)		㉚実績による伸び率 ㉖/㉓
令和2年度	計(年間)	⑩ $⑨ \times \left[\frac{⑨}{⑥} \right]$		㉗ (注4) (㉖ × 伸び率) (伸び率) = $\sqrt{(㉙ \times ㉚)}$	㉛ $\left[㉗ \times \frac{⑩}{12} \right]$ (注5)	

(注1) この表は、退職被保険者等以外の者であって、未就学児のみについて推計すること。

(注2) この表は、入院、入院外、歯科、調剤、食事療養・生活療養、訪問看護を合算して作成すること。

(注3) 被保険者一人当たり額は、円未満第4位を四捨五入し第3位まで算出し、それ以外の割合については、小数点以下第5位を四捨五入し第4位まで算出すること。

(注4) 被保険者一人当たり額の伸び率は、過去3年の伸び率を使用する等、各保険者において実績を勘案した伸び率を使用すること。

(注5) 算出された診療費総額に、令和2年度診療報酬改定率を乗じることが考えられる。

第1-2表② 令和2年度診療費の算出表（入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護）
（一般未就学児）

		被保険者延べ数(人)	診療費 (実績・70歳未満の一般被保険者(未就学児除く))	被保険者一人当たり額			
		人	千円	円			
平成26年度	3月	① A126の集計	⑦ C509の集計/1000	3月	⑬ ⑦/(①÷月数) ×1000		
	4月～翌2月	② A126の集計	⑧ C509の集計/1000	4月～翌2月	⑭ ⑧/(②÷月数) ×1000		
	計(年間)	③ (①+②)	⑨ (⑦+⑧)	計(年間)	⑮ ⑨/(③÷月数) ×1000		
平成30年度	3月	④ A126の集計	⑩ C509の集計/1000	3月	⑯ ⑩/(④÷月数) ×1000		
	4月～翌2月	⑤ A126の集計	⑪ C509の集計/1000	4月～翌2月	⑰ ⑪/(⑤÷月数) ×1000		
	計(年間)	⑥ (④+⑤)	⑫ (⑩+⑪)	計(年間)	⑱ ⑫/(⑥÷月数) ×1000		
令和2年度				3月	⑲ $[(⑯ \times (⑯ \div ⑬))^B \div A] \times C$	C	改定率(3月) H30改定率 × R1改定率 ÷ (H26改定率 × H28改定率) ^{2/4}
				4月～翌2月	⑳ $[(⑰ \times (⑰ \div ⑭))^B \div A] \times D$	D	R1改定率 ÷ (H28改定率 × H30改定率) ^{2/4}
				計(年間)	㉑ ⑲+⑳		

年度	月	被保険者数(推計値)(1か月)	1人当たり診療費		診療費総額		診療費総額(診療報酬改定率乗算後)
令和2年度	3月～翌2月	I	II	㉑	III	I × II	III × R2診療報酬改定率※

- (注1) この表は、退職被保険者等以外の者であって、未就学児のみについて推計すること。
(注2) この表は、入院、入院外、歯科、調剤、食事療養・生活療養、訪問看護を合算して作成すること。
(注3) 被保険者一人当たり額は、円未満第4位を四捨五入し第3位まで算出し、それ以外の割合については、小数点以下第5位を四捨五入し第4位まで算出すること。
(注4) 被保険者一人当たり額の伸び率は、過去3年の伸び率を使用する等、各保険者において実績を勘案した伸び率を使用すること。
(注5) 令和2年診療報酬改定率※は確定計数時にお示しする予定。
(注6) C、Dの入力に際し、選択年度1を平成26年度、選択年度2を平成30年度とする場合、別添により示した数値を参考とすること。

第2-1表① 令和2年度診療費の算出表（入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護）
 （70歳以上の一般被保険者（一般所得者））

		被保険者数（延べ数）	診療費（実績）	被保険者一人当たり額	診療費総額	備考
		人	千円	円	円	
平成29年度	〇月～〇月	① A127の集計	⑪ C461の集計/1000	⑮ $\left\{ \frac{\text{⑪}}{(\text{①} \div \text{〇})} \right\}$		
	〇月～〇月	② A127の集計	⑫ C461の集計/1000	⑰ $\left\{ \frac{\text{⑫}}{(\text{②} \div \text{〇})} \right\}$		
	計(年間)	③ (①+②)	⑬ (⑪+⑫)	⑳ $\left\{ \frac{\text{⑬}}{(\text{③} \div 12)} \right\}$		
平成30年度	〇月～〇月	④ A127の集計	⑭ C461の集計/1000	㉑ $\left\{ \frac{\text{⑭}}{(\text{④} \div \text{〇})} \right\}$		
	〇月～〇月	⑤ A127の集計	⑮ C461の集計/1000	㉒ $\left\{ \frac{\text{⑮}}{(\text{⑤} \div \text{〇})} \right\}$		
	計(年間)	⑥ (④+⑤)	⑯ (⑭+⑮)	㉓ $\left\{ \frac{\text{⑯}}{(\text{⑥} \div 12)} \right\}$		㉔実績による伸び率 ㉓/㉒
令和元年度	〇月～〇月	⑦ A127の集計	⑰ C461の集計/1000	㉔ $\left\{ \frac{\text{⑰}}{(\text{⑦} \div \text{〇})} \right\}$		
	〇月～〇月	⑧ (⑨-⑦)		㉕ $\text{⑳} \times \left[\frac{\text{㉒}}{\text{㉑}} \right]$		
	計(年間)	⑨ $\text{⑦} \times \left[\frac{\text{⑥}}{\text{④}} \right]$		㉖ (㉔ + ㉕)		㉗実績による伸び率 ㉖/㉓
令和2年度	計(年間)	⑩ $\text{⑨} \times \left[\frac{\text{⑨}}{\text{⑥}} \right]$		㉗ (注4) (㉖ × 伸び率) (伸び率) = $\sqrt{(\text{㉔} \times \text{㉗})}$	㉘ $\left[\text{㉗} \times \frac{\text{⑩}}{12} \right]$ (注5)	

(注1) この表は、70歳以上の者（一般所得者）について推計すること。

(注2) この表は、入院、入院外、歯科、調剤、食事療養・生活療養、訪問看護を合算して作成すること。

(注3) 被保険者一人当たり額は、円未満第4位を四捨五入し第3位まで算出し、それ以外の割合については、小数点以下第5位を四捨五入し第4位まで算出すること。

(注4) 被保険者一人当たり額の伸び率は、過去3年の伸び率を使用する等、各保険者において実績を勘案した伸び率を使用すること。

(注5) 算出された診療費総額に、令和2年度診療報酬改定率を乗じることが考えられる。

第2-1表② 令和2年度診療費の算出表（入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護）
 （70歳以上の一般被保険者（一般所得者））

		被保険者延べ数(人)	診療費 (実績・70歳未満の一般被保険者(未 就学児除く))	被保険者一人当たり額			
		人	千円	円			
平成 26 年度	3月	① A127の集計	⑦ C461の集計/1000	3月	⑬ ⑦/(①÷月数) ×1000		
	4月～翌2月	② A127の集計	⑧ C461の集計/1000	4月～翌2月	⑭ ⑧/(②÷月数) ×1000		
	計(年間)	③ (①+②)	⑨ (⑦+⑧)	計(年間)	⑮ ⑨/(③÷月数) ×1000	A	選択年度2 - 選択年度1
平成 30 年度	3月	④ A127の集計	⑩ C461の集計/1000	3月	⑯ ⑩/(④÷月数) ×1000		
	4月～翌2月	⑤ A127の集計	⑪ C461の集計/1000	4月～翌2月	⑰ ⑪/(⑤÷月数) ×1000		
	計(年間)	⑥ (④+⑤)	⑫ (⑩+⑪)	計(年間)	⑱ ⑫/(⑥÷月数) ×1000	B	推計対象年度 - 選択年度2
令和 2 年度				3月	⑲ $[\frac{⑯ \times (⑯ \div ⑬)}{A}]^B \times C$	C	改定率(3月) H30改定率 × R1改定率 ÷ (H26改定率 × H28改定率) ^{2/4}
				4月～翌2月	⑳ $[\frac{⑰ \times (⑰ \div ⑭)}{A}]^B \times D$	D	R1改定率 ÷ (H28改定率 × H30改定率) ^{2/4}
				計(年間)	㉑ ⑲+⑳		

年度	月	被保険者数(推計値)(1か月)	1人当たり診療費		診療費総額		診療費総額(診療報酬改定率乗算後)
令和 2年 度	3月～翌2月	I	II	㉑	III	I × II	III × R2診療報酬改定率※

- (注1) この表は、70歳以上の者(一般所得者)について推計すること。
 (注2) この表は、入院、入院外、歯科、調剤、食事療養・生活療養、訪問看護を合算して作成すること。
 (注3) 被保険者一人当たり額は、円未満第4位を四捨五入し第3位まで算出し、それ以外の割合については、小数点以下第5位を四捨五入し第4位まで算出すること。
 (注4) 被保険者一人当たり額の伸び率は、過去3年の伸び率を使用する等、各保険者において実績を勘案した伸び率を使用すること。
 (注5) 令和2年診療報酬改定率※は確定計数時にお示しする予定。
 (注6) C、Dの入力に際し、選択年度1を平成26年度、選択年度2を平成30年度とする場合、別添により示した数値を参考とすること。

第2-2表① 令和2年度診療費の算出表（入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護）
 （70歳以上の一般被保険者（現役並み所得者））

		被保険者数（延べ数）	診療費（実績）	被保険者一人当たり額	診療費総額	備考
		人	千円	円	円	
平成29年度	〇月～〇月	① A128の集計	⑪ C485の集計／1000	⑮ $\left\{ \frac{⑪}{(① \div ①)} \right\}$		
	〇月～〇月	② A128の集計	⑫ C485の集計／1000	⑰ $\left\{ \frac{⑫}{(② \div ①)} \right\}$		
	計(年間)	③ (①+②)	⑬ (⑪+⑫)	⑳ $\left\{ \frac{⑬}{(③ \div 12)} \right\}$		
平成30年度	〇月～〇月	④ A128の集計	⑭ C485の集計／1000	㉑ $\left\{ \frac{⑭}{(④ \div ①)} \right\}$		
	〇月～〇月	⑤ A128の集計	⑮ C485の集計／1000	㉒ $\left\{ \frac{⑮}{(⑤ \div ①)} \right\}$		
	計(年間)	⑥ (④+⑤)	⑯ (⑭+⑮)	㉓ $\left\{ \frac{⑯}{(⑥ \div 12)} \right\}$		㉔実績による伸び率 ㉓／㉒
令和元年度	〇月～〇月	⑦ A128の集計	⑰ C485の集計／1000	㉔ $\left\{ \frac{⑰}{(⑦ \div ①)} \right\}$		
	〇月～〇月	⑧ (⑨-⑦)		㉕ $⑳ \times \left[\frac{㉒}{㉑} \right]$		
	計(年間)	⑨ $⑦ \times \left[\frac{⑥}{④} \right]$		㉖ (㉔ + ㉕)		㉗実績による伸び率 ㉖／㉓
令和2年度	計(年間)	⑩ $⑨ \times \left[\frac{⑩}{⑥} \right]$		㉗ (注4) (㉖ × 伸び率) (伸び率) = $\sqrt{(㉓ \times ㉗)}$	㉘ (注5) $\left[㉗ \times \frac{⑩}{12} \right]$	

(注1) この表は、70歳以上の者（現役並み所得者）について推計すること。
 (注2) この表は、入院、入院外、歯科、調剤、食事療養・生活療養、訪問看護を合算して作成すること。
 (注3) 被保険者一人当たり額は、円未満第4位を四捨五入し第3位まで算出し、それ以外の割合については、小数点以下第5位を四捨五入し第4位まで算出すること。
 (注4) 被保険者一人当たり額の伸び率は、過去3年の伸び率を使用する等、各保険者において実績を勘案した伸び率を使用すること。
 (注5) 算出された診療費総額に、令和2年度診療報酬改定率を乗じることが考えられる。

第2-2表② 令和2年度診療費の算出表（入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護）
 （70歳以上の一般被保険者（現役並み所得者））

		被保険者延べ数(人)	診療費 (実績・70歳未満の一般被保険者(未 就学児除く))	被保険者一人当たり額				
		人	千円	円				
平成 26 年度	3月	① A127の集計	⑦ C461の集計/1000	3月	⑬ ⑦/(①÷月数) ×1000			
	4月～翌2月	② A127の集計	⑧ C461の集計/1000	4月～翌2月	⑭ ⑧/(②÷月数) ×1000			
	計(年間)	③ (①+②)	⑨ (⑦+⑧)	計(年間)	⑮ ⑨/(③÷月数) ×1000	A	選択年度2 - 選択年度1	4
平成 30 年度	3月	④ A127の集計	⑩ C461の集計/1000	3月	⑯ ⑩/(④÷月数) ×1000			
	4月～翌2月	⑤ A127の集計	⑪ C461の集計/1000	4月～翌2月	⑰ ⑪/(⑤÷月数) ×1000			
	計(年間)	⑥ (④+⑤)	⑫ (⑩+⑪)	計(年間)	⑱ ⑫/(⑥÷月数) ×1000	B	推計対象年度 - 選択年度2	2
令和 2 年度				3月	⑲ $[(⑯ \times (⑯ \div ⑬))^B \div A] \times C$	C	改定率(3月) H30改定率 × R1改定率 ÷ (H26改定率 × H28改定率) ^{2/4}	
				4月～翌2月	⑳ $[(⑰ \times (⑰ \div ⑭))^B \div A] \times D$	D	R1改定率 ÷ (H28改定率 × H30改定率) ^{2/4}	
				計(年間)	㉑ ⑲+⑳			

年度	月	被保険者数(推計値)(1か月)	1人当たり診療費	診療費総額	診療費総額(診療報酬改定率乗算後)
令和 2年 度	3月～翌2月	I	II ㉑	III I × II	III × R2診療報酬改定率※

- (注1) この表は、70歳以上の者(現役並み所得者)について推計すること。
 (注2) この表は、入院、入院外、歯科、調剤、食事療養・生活療養、訪問看護を合算して作成すること。
 (注3) 被保険者一人当たり額は、円未満第4位を四捨五入し第3位まで算出し、それ以外の割合については、小数点以下第5位を四捨五入し第4位まで算出すること。
 (注4) 被保険者一人当たり額の伸び率は、過去3年の伸び率を使用する等、各保険者において実績を勘案した伸び率を使用すること。
 (注5) 令和2年診療報酬改定率※は確定計数時にお示しする予定。
 (注6) C、Dの入力に際し、選択年度1を平成26年度、選択年度2を平成30年度とする場合、別添により示した数値を参考とすること。

第3表 令和2年度補助対象医療費及び保険者負担額(未就学児を分け、診療別のは合算した場合)

様式第9(その1)、様式第9(その2)は、事業報告システム(療養給付費負担金申請用)を示している。

	診療費総額 (第1表・第2表で算出された診療費の額) ①	薬剤支給額 (① × 割合) ②	療養の給付費総額 (① + ②) ③	他法優先公費負担額 (③ × 割合) ④	療養の給付費 (③ - ④) ⑤	療養費 (⑤ × 割合) ⑥	実績給付率 (過去3年分の給付率の平均を用いる) ⑦	保険者負担額 (⑤ + ⑥) × 給付率 ⑧	補助対象保険者負担額 ⑨	療養給付費等負担金 (医療分) ⑩
未就学児	第1-2表㉔		①の額				$[(C344+C437)+C598 \times C343/C26] / (C343-C347)$		⑧	
70歳未満	第1-1表㉔		①の額				$[(C27-C236-C290-C344)+(C48-C395-C419-C437))+C598 \times (C26-C235-C289-C343)/C26] / [(C26-C235-C289-C343)-(C30-C239-C293-C347)]$		⑧ × 様式第9(その1) #133 /(様式第9(その1) #133 +様式第9(その1) #161)	
70歳以上 (一般所得者)	第2-1表㉔		①の額				$[(C236+C395)+C598 \times C235/C26] / (C235-C239)$		⑧ × (様式第9(その1) #233 +様式第9(その2) #233) /(様式第9(その1) #233 +様式第9(その2) #233 +様式第9(その1) #261 +様式第9(その2) #261)	
70歳以上 (現役並み所得者)	第2-2表㉔		①の額				$[(C290+C419)+C598 \times C289/C26] / (C289-C293)$		⑧ × (様式第9(その1) #333 +様式第9(その2) #333) /(様式第9(その1) #333 +様式第9(その2) #333 +様式第9(その1) #361 +様式第9(その2) #361)	
合計	第X表、第1表、第2表 ㉔の集計		①の額							

赤枠内は下記の式により計算している。

$0.32 \times [\text{補助対象保険者負担額【合計】} - \text{【第9表】のAA年度当該保険者前期高齢者交付金額} + (\text{【第8表】のAA年度当該保険者前期高齢者納付金等額} - \text{前期高齢者納付金関係事務費拠出金額}) - \{ \text{【第9表】のAA年度当該保険者概算調整対象基準額} \times \text{【第6-2表】のAA年度概算退職被保険者等所属割合} - (\text{【第6-2表】のCC年度退職被保険者等に係る概算調整対象基準額相当額} - \text{【第6-2表】のCC年度確定調整対象基準額相当額} + \text{【第6-2表】の調整金額}) \} - 0.5 \times (\text{TSB04.保険者支援制度(医療分・一般分)(AA年度)} + \text{TSB04.保険者支援制度(後期支援金分・一般分)(AA年度)} + \text{TSB04.保険者支援制度(介護納付金分・一般分)(AA年度)} + (\text{TSB04.保険料軽減額(保険基盤安定制度分・医療分・一般分)見込額(AA年度)} + \text{TSB04.保険料軽減額(保険基盤安定制度分・支援金分・一般分)見込額(AA年度)} + \text{TSB04.保険料軽減額(保険基盤安定制度分・介護分・一般分)見込額(AA年度)})]$

$0.32 \times$
 $(\text{⑨の合計}$
 $- 0.5 \times$
 $(\text{保険者支援額}$
 $+ \text{保険料軽減額(保険基盤安定制度分)})$
 $- \text{前期高齢者交付金}$
 $+ \text{前期高齢者納付金}$
 $- \text{退職者前期調整額})$

	算 出 方 法
薬剤支給割合算出基礎(②の割合)	
公費負担割合算出基礎(④の割合) (過去3年分の算出基礎の平均を用いる)	未就学児 $C300/C296$ 70歳未満 $(C6-C192-C246-C300)/(C2-C188-C242-C296)$ 70歳以上(一般所得者) $C192/C188$ 70歳以上(現役並み所得者) $C246/C242$
療養費支給割合算出基礎(⑥の割合) (過去3年分の算出基礎の平均を用いる)	未就学児 $[(C325-C329)+(C337-C341)]/(C296-C300)$ 70歳未満 $[(C20-C24)+(C100-C104)-((C325-C329)+(C337-C341))-((C217-C221)+(C229-C233))-((C271-C275)+(C283-C287))]/[(C2-C6)-(C296-C300)-(C188-C192)-(C242-C246)]$ 70歳以上(一般所得者) $[(C217-C221)+(C229-C233)]/(C188-C192)$ 70歳以上(現役並み所得者) $[(C271-C275)+(C283-C287)]/(C242-C246)$

普通交付金(療養給付費等交付金分)の予算編成の構成(第4表～第6表)

令和2年度予算編成通知における普通交付金(療養給付費等交付金分)(以下、「療養給付費等交付金分」)の算出表の構成は、以下のとおりである。

第4表 令和2年度退職被保険者等数の算出表

第5表 令和2年度診療費の算出表

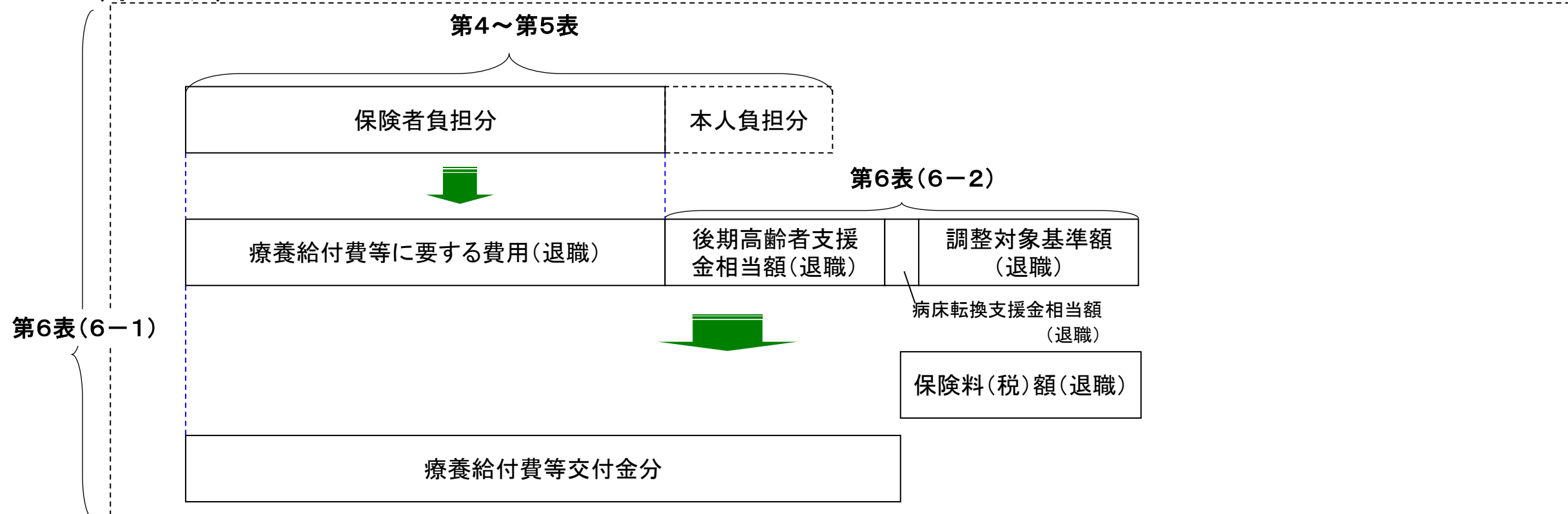
第6表 (6-1) 令和2年度療養給付費等交付金分の算出表

(6-2) 「退職被保険者等に係る後期高齢者支援金相当額、病床転換支援金相当額及び調整対象基準額」の算定手順

< 説明 >

- 第4表については、「令和元年度予算編成の構成」と同様に、適用実績及び予算関係資料の様式9を使用した推計となっている。
平成31年4月1日(年度開始時)の被保険者等数をベースとして、遡及適用による増及び年齢到達による減により、令和2年度末までの被保険者等数を推計している。
- 第5表では、平成31年3月～令和元年11月の1人当たり診療費実績をベースとして、過去の実績から年度額を推計している。
なお、退職被保険者本人と、退職被保険者の被扶養者については、年齢構成が異なることから、各別に診療費の推計を行うこととしている。
- 第6表(6-1)では、第5表の診療費から療養給付費を推計し、これに(6-2)で算定する後期高齢者支援金相当額等を合算し、保険料(税)額を減じることで、療養給付費等交付金分を算出することとしている。
- 都道府県は、管内市町村が算出した療養給付費等交付金分の合計を療養給付費等交付金として計上することとする。

(イメージ)



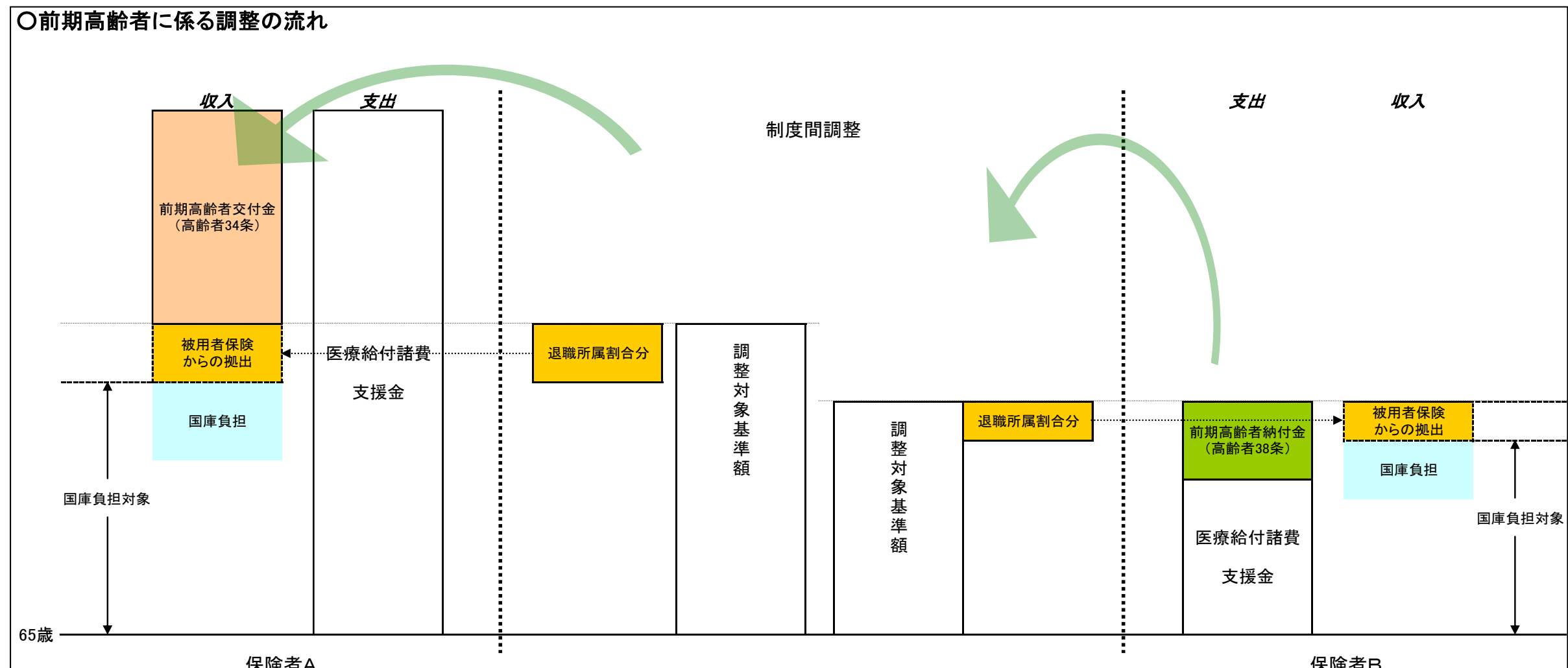
[参考] 調整対象基準額(退職)について(平成20年度～)

65～74歳の前期高齢者に係る医療給付費等については、全国平均に照らして、その保険者の全加入者数に見合った前期高齢者に係る医療給付費等はいくらであるか(調整対象基準額)を算定し、それを超える部分が前期高齢者交付金として交付される。

この調整対象基準額は、退職被保険者等も含めた国保全体の加入者数に応じた額となっているため、退職被保険者等が所属する割合の分だけ、調整対象基準額が高く算定されていることになる。(下図中央の■部分)

調整対象基準額が高く算定された■分は、前期高齢者交付金が少なく算定されるが、別途、療養給付費等交付金分の一部として計算され、被用者保険等保険者から拠出され、都道府県に交付されることとなっている。

○前期高齢者に係る調整の流れ



第4表 令和2年度退職被保険者等数の算出表

1. 平成31年4月1日現在の退職被保険者等数(令和2年度予算関係等資料 様式9より)

(単位:人)

退職被保険者本人		退職被扶養者				合計
(年度当初)	人数	64歳	63歳	62歳	小計	
64歳	③		⑤	⑥		
63歳	⑦		⑧	⑩		
～62歳			⑨			
合計	①	④			②	

※1 平成31年4月1日現在または、同年3月31日現在。

※2 「同一世帯に所属する退職被保険者本人の生年月日区分」ごとに、その被扶養者の生年月日区分別の人数を集計したもの。

2. 令和元年度における退職被保険者等の遡及適用者数(増要素)

(退職被保険者等)※本人および被扶養者の合計

退職被保険者等	遡及適用数 (65歳未満のみ)	(再掲) うち64歳※
平成31年4月～令和元年12月		
↓ 満年度化(×4/3)		
令和元年度見込	⑪	⑫

3. 退職被保険者等における65歳到達による非該当者数(減要素)

	65歳到達による減	
令和元年度	⑬	(③+④+⑤+⑥+⑫)
令和2年度	⑭	(⑦+⑧+⑨+⑩)

4. 令和元年度および令和2年度の平均被保険者等数の見込

令和元年度当初の被保険者等数	⑮	0	(①+②)
令和元年度末の被保険者等数の見込	⑯	0	(⑮+⑪-⑬)
(令和2年度当初の被保険者等数の見込)			
令和2年度末の被保険者等数の見込	⑰	0	(⑯-⑭+r) (注1)
(A) 令和元年度平均被保険者等数の見込		0	{ (⑮+⑯) ÷ 2 }
(B) 令和2年度平均被保険者等数の見込		0	{ (⑯+⑰) ÷ 2 }

(注1)

rについては、令和3年3月31日までに遡及適用される見込みの退職被保険者等を推計し、加算すること。

- 人口の年齢別構成割合や就業状況、適用状況等を勘案し、以下の影響を踏まえたうえで見込数が過小とならないように注意すること。
- 遡及適用においては、平成25年度以降は老齢厚生年金(報酬比例部分)の受給開始年齢が引き上がっていること(繰上支給の場合は除く)に注意すること。

第5-1表 令和2年度診療費の算出表 (入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護)
(退職被保険者本人)

	診療月	退職被保険者等数 (延べ数)	診療費 (実績)	退職被保険者等 1人当たり診療費	診療費 総額	備考
平成 29 年度	○月～○月	① E12の集計	⑨ F82の集計	⑭ $\left\{ \frac{\textcircled{9}}{(\textcircled{1} \div \textcircled{0})} \right\}$	円	65歳未満の実績を使用
	○月～○月	② E12の集計	⑩ F82の集計	⑮ $\left\{ \frac{\textcircled{10}}{(\textcircled{2} \div \textcircled{0})} \right\}$		
平成 30 年度	○月～○月	③ E12の集計	⑪ F82の集計	⑯ $\left\{ \frac{\textcircled{11}}{(\textcircled{3} \div \textcircled{0})} \right\}$	円	65歳未満の実績を使用
	○月～○月	④ E12の集計	⑫ F82の集計	⑰ $\left\{ \frac{\textcircled{12}}{(\textcircled{4} \div \textcircled{0})} \right\}$		
令和 元 年度	○月～○月	⑤ E12の集計	⑬ F82の集計	⑱ $\left\{ \frac{\textcircled{13}}{(\textcircled{5} \div \textcircled{0})} \right\}$	円	65歳未満の実績を使用
	○月～○月	⑥	/	⑲ $[\textcircled{18} \times \left\{ \left(\frac{\textcircled{15}}{\textcircled{14}} + \frac{\textcircled{17}}{\textcircled{16}} \right) \div 2 \right\}]$		
	計(12ヶ月)	⑦ 第4表の(A) × 12 × 第4表1の① ÷ (第4表1の① + 第4表1の②)		⑳ (⑱ + ⑲)		
令和 2 年度	計(年間) (注1)	⑧ 第4表の(B) × 12 × (第4表1のNo.118 + 第4表1の No.122) ÷ (第4表のNo.118 + 第4表のNo.122 + 第4表のNo.120 + 第4表のNo.121 + 第4表のNo.124 + 第4表のNo.125)	/	㉑ (㉑ × 伸び率) (注2)	㉒ $\left(\textcircled{21} \times \frac{\textcircled{8}}{12} \right)$	

(注) 1 この表は、65歳未満の退職被保険者本人、退職被保険者の被扶養者の各別について、第1表の作成に準じて作成すること。
2 令和元年度から令和2年度への1人当たり診療費の伸び率は、過去2年程度の伸び率の平均を使用する等、各市町村保険者において実績を勘案した伸び率を使用すること。
(参考)
1人あたり診療費 過去2年程度の伸び率の平均

$$\sqrt{\left[\frac{(\textcircled{16} + \textcircled{17})}{(\textcircled{14} + \textcircled{15})} \times \frac{\textcircled{20}}{(\textcircled{16} + \textcircled{17})} \right]}$$

第5-2表 令和2年度診療費の算出表 (入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護)
(退職被保険者の被扶養者)

	診療月	退職被保険者等数 (延べ数)	診療費 (実績)	退職被保険者等 1人当たり診療費	診療費 総額	備考
平成 29 年度	○月～○月	① E16の集計	⑨ F102の集計	⑭ $\left\{ \frac{\textcircled{9}}{(\textcircled{1} \div \textcircled{0})} \right\}$	円	65歳未満の実績を使用
	○月～○月	② E16の集計	⑩ F102の集計	⑮ $\left\{ \frac{\textcircled{10}}{(\textcircled{2} \div \textcircled{0})} \right\}$		
平成 30 年度	○月～○月	③ E16の集計	⑪ F102の集計	⑯ $\left\{ \frac{\textcircled{11}}{(\textcircled{3} \div \textcircled{0})} \right\}$	円	65歳未満の実績を使用
	○月～○月	④ E16の集計	⑫ F102の集計	⑰ $\left\{ \frac{\textcircled{12}}{(\textcircled{4} \div \textcircled{0})} \right\}$		
令和 元 年度	○月～○月	⑤ E16の集計	⑬ F102の集計	⑱ $\left\{ \frac{\textcircled{13}}{(\textcircled{5} \div \textcircled{0})} \right\}$	円	65歳未満の実績を使用
	○月～○月	⑥	/	⑲ $[\textcircled{18} \times \{ (\frac{\textcircled{15}}{\textcircled{14}} + \frac{\textcircled{17}}{\textcircled{16}}) \div 2 \}]$		
	計(12ヶ月)	⑦ 第4表の(A) × 12 × 第4表1の② ÷ (第4表1の① + 第4表1の②)		⑳ (⑱ + ⑲)		
令和 2 年度	計(年間) (注1)	⑧ 第4表の(B) × 12 × (第4表1のNo.120 + 第4表1の No.121 + 第4表のNo.124 + 第4表のNo.125) ÷ (第4表のNo.118 + 第4表のNo.122 + 第4表のNo.120 + 第4表のNo.121 + 第 4表のNo.124 + 第4表のNo.125)	/	㉑ (㉑ × 伸び率) (注2)	㉒ $\left[\textcircled{21} \times \frac{\textcircled{8}}{12} \right]$	

(注) 1 この表は、65歳未満の退職被保険者本人、退職被保険者の被扶養者の各別について、第1表の作成に準じて作成すること。
2 令和元年度から令和2年度への1人当たり診療費の伸び率は、過去2年程度の伸び率の平均を使用する等、各市町村保険者において実績を勘案した伸び率を使用すること。

(参考)

1人あたり診療費 過去2年程度の伸び率の平均

$$\sqrt{\left[\frac{(\textcircled{16} + \textcircled{17})}{(\textcircled{14} + \textcircled{15})} \times \frac{\textcircled{20}}{(\textcircled{16} + \textcircled{17})} \right]}$$

第6表 (6-1) 令和2年度療養給付費等交付金の算出表 (入院+入院外+歯科+調剤+食事療養・生活療養+訪問看護)

(退職被保険者本人、退職被保険者の被扶養者の各別)

(単位：円)

	診療費総額 (第5表の本人、 被扶養者) ①	薬剤支給額 (① × 割合) ②	療養の給付費総額 (① + ②) ③	他法優先公費負担額 (③ × 割合) ④	医療費 (③ - ④) ⑤	療養費 (療養につき算定した費用の額) (⑤ × 療養費支給割合算出基礎) ⑥	保険者負担額 (⑤ + ⑥) × 給付率(過去3年分の給付率の平均を用いる) ⑦	退職被保険者等に 係る 老人保健医療費 拠出金相当額 ⑧	退職被保険者等に係る後期高齢 者支援金相当額、病床転換支援 金相当額及び調整対象基準額 ⑨	保険料(税)額 ⑩	療養給付費等交付金 (⑦ + ⑧ + ⑨ - ⑩)
(令和2年3月～令和3年2月診療分)											
本人	第5-1表②		①の額		自動計算		(⑤+⑥) × [[((F27-F374)+(F48-F467)+F571) × F82/(F82+F102-F539)] /[[((F26-F373)-(F30-F377)) × F82/(F82+F102-F539)]]		第5-1表⑧ 第6表(6-2)① × 本人数 (本人数+被扶養数) 第5-1表⑧+第5-2表⑧	市町村が計算して市町村基 礎ファイルにより報告 (退職被保険者等分の国保 事業費納付金(医療分)見 込額(AA年度)) + (退職被保険者等分の国 保事業費納付金(支援金 分)見込額(AA年度))	
被扶養者	第5-2表②		①の額			(⑤+⑥) × [F374+F467+(((F27-F374)+(F48- F467)+F571) × (F102-F539)/(F82+F102- F539))] /[F373+F377+((F26-F373)-(F30-F377)) × (F102-F539)/(F82+F102-F539)]		第5-2表⑧ 第6表(6-2)① × 被扶養者数 (本人数+被扶養数) 第5-1表⑧+第5-2表⑧			
計											

(注) 1 この表は、65歳未満の退職被保険者本人、退職被保険者の被扶養者の各別について、第3表の作成に準じて作成すること

2 ⑦欄の給付率は、過去3年分の給付率の平均を用いること。

3 ⑨欄の退職被保険者等に係る後期高齢者支援金額等は、第6表(6-2)の①の額を計上すること。

⑧欄の退職被保険者等に係る老人保健医療費拠出金相当額は、第7-A表のIVの①の額を計上すること。(廃止)

4 平成28年度の実績についても、誤りがないか十分確認されたいこと。

公費負担割合算出基礎(④の割合) (過去2年分の算出基礎の平均を用いる)	退職被保険者: [(F6-F330) × F82 / (F82+F102-F539)] × 1/F82 退職被扶養者: [F330+(F6-F330) × (F102-F539) / (F82+F102-F539)] × 1/F102
療養費支給割合算出基礎 (過去3年分の算出基礎の平均を用いる)	退職被保険者、退職被扶養者共通 ((F20-F24) + (F115-F119)) / (F2-F6)

(6-2) 「退職被保険者等に係る後期高齢者支援金相当額、病床転換支援金相当額及び調整対象基準額」の算定手順

① 退職被保険者等に係る
後期高齢者支援金相当額、病床
転換支援金相当額
及び調整対象基準額

自動計算
(1円未満切捨)

=

令和2年度
・後期高齢者支援金額
・病床転換支援金額
・概算調整対象基準額
を合算した額

自動入力

×

令和2年度
概算退職被保険者等
所属割合

自動入力

-

平成30年度
退職被保険者等に係る
概算後期高齢者支援金相当額

都道府県入力マスタ
(注1)

-

③ 平成30年度
退職被保険者等に係る
確定後期高齢者支援金相当額

自動入力

+

④ 当該精算額に係る
調整金額
(後期高齢者分)

自動入力

-

平成30年度
退職被保険者等に係る
概算調整対象基準額相当額

都道府県入力マスタ
(注1)

-

⑤ 平成30年度
退職被保険者等に係る
確定調整対象基準額相当額

自動入力

+

⑥ 当該精算額に係る
調整金額
(前期高齢者分)

自動入力

(注1)

支払基金から通知された「平成30年度退職者医療概算交付金の交付申請について」の「平成30年度退職者医療交付金交付申請金額計算書」の「㊦本年度退職被保険者数等」に係る調整対象基準額等の合計額「㊧本年度退職被保険者等に係る概算額」の各欄の金額を記入すること。

※ただし、額の変更があった場合は、変更後の金額を記入すること。

② 「令和2年度概算退職被保険者等所属割合」は、次により算出すること。

令和2年度 概算退職被保険者等 所属割合
自動計算

=

令和2年度の 各市町村の 退職被保険者等数
自動入力(注2)
第4表4(B)

÷

令和2年度の 当該保 険者 加入者 見込 数
自動入力(注3)
第7-A表 I-1

(注) 小数点以下8位未満
四捨五入する。

(注2)

第4表4(B)で算出した退職被保険者等数を記入すること。

(注3)

第7-A表のI-1の「令和2年度当該保険者加入者見込数」を用いること。

③ 「平成30年度退職被保険者等に係る確定後期高齢者支援金相当額」は、次により算出すること。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \hline \text{退職被保険者等に係る} \\ \hline \text{確定後期高齢者支援金相当額} \\ \hline \text{自動計算} \\ \hline \text{(1円未満切捨)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \hline \text{確定後期高齢者支援金額} \\ \hline \text{自動入力} \\ \hline \text{第7-A表のII} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \hline \text{確定退職被保険者等} \\ \hline \text{所属割合} \\ \hline \text{自動入力} \\ \hline \end{array}$$

④ 「当該精算額に係る調整金額（後期高齢者分）」は、次により算出すること。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{当該精算額に係る} \\ \hline \text{調整金額} \\ \hline \text{(後期高齢者分)} \\ \hline \text{自動計算} \\ \hline \text{(1円未満切捨)} \\ \hline \end{array} = \left[\begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \hline \text{退職被保険者等に係る} \\ \hline \text{概算後期高齢者支援金相当額} \\ \hline \text{都道府県入力マスタ} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \hline \text{退職被保険者等に係る} \\ \hline \text{確定後期高齢者支援金相当額} \\ \hline \text{自動入力} \\ \hline \end{array} \right] \times \begin{array}{|c|} \hline \text{算定率} \\ \hline \text{自動入力(注4)} \\ \hline \end{array}$$

(注4)
第7-A表のⅢの「令和2年度後期高齢者支援算定率」を用いること。

⑤ 「平成30年度退職被保険者等に係る確定調整対象基準額相当額」は、次により算出すること。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \hline \text{退職被保険者等に係る} \\ \hline \text{確定調整対象基準額相当額} \\ \hline \text{自動計算} \\ \hline \text{(1円未満切捨)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \hline \text{確定調整対象基準額} \\ \hline \text{自動入力} \\ \hline \text{第8表のII-1-A} \\ \hline \text{又は第9表のII-1} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \hline \text{確定退職被保険者等} \\ \hline \text{所属割合} \\ \hline \text{自動入力} \\ \hline \end{array}$$

⑥ 「当該精算額に係る調整金額（前期高齢者分）」は、次により算出すること。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{当該精算額に係る} \\ \hline \text{調整金額} \\ \hline \text{(前期高齢者分)} \\ \hline \text{自動計算} \\ \hline \text{(1円未満切捨)} \\ \hline \end{array} = \left[\begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \hline \text{退職被保険者等に係る} \\ \hline \text{概算調整対象基準額相当額} \\ \hline \text{都道府県入力マスタ} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \hline \text{退職被保険者等に係る} \\ \hline \text{確定調整対象基準額相当額} \\ \hline \text{自動入力} \\ \hline \end{array} \right] \times \begin{array}{|c|} \hline \text{算定率} \\ \hline \text{自動入力(注5)} \\ \hline \end{array}$$

(注5)
第9表のⅢの「令和2年度前期高齢者交付算定率」を用いること。

⑦ 「平成30年度確定退職被保険者等所属割合」は、次により算出すること。

平成30年度 確定退職被保険者等 所属割合
自動計算

(注) 小数点以下8位未満
四捨五入する。

=

平成30年度 各市町村の確定退職 被保険者等数(注6)
都道府県入力マスタ

平成30年度 各市町村の確定 被保険者数(注7)
都道府県入力マスタ

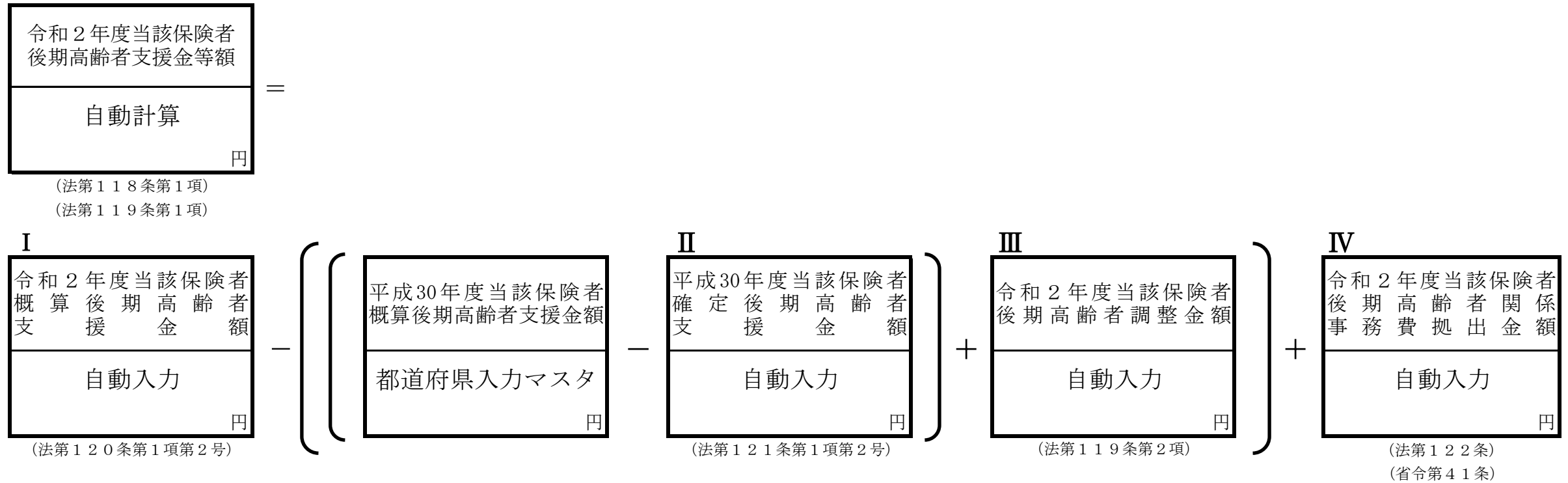
(注6)

平成30年度退職者医療療養給付費等事業実績通知書(様式第9号)の別紙により支払基金へ報告した退職被保険者等の数の数を記入すること。

(注7)

平成30年度退職者医療療養給付費等事業実績通知書(様式第9号)の別紙により支払基金へ報告した一般被保険者数と退職被保険者等の数の合計の総数を記入すること。

第 7 - A 表 後 期 高 齢 者 支 援 金 等 額 算 定 手 順 (被用者保険等保険者以外)



※ 法：高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）
 政令：前期高齢者交付金及び後期高齢者医療の国庫負担金の算定等に関する政令（平成19年政令第325号）
 省令：高齢者の医療の確保に関する法律による保険者の前期高齢者交付金等の額の算定等に関する省令（平成19年厚生労働省令第140号）

※ 諸係数については、政府予算案に基づく数値であり、予算編成のための暫定数値である。

※ 令和2年度概算後期高齢者支援金額 - ((平成30年度概算後期高齢者支援金額 - 平成30年度確定後期高齢者支援金額) + 令和2年度後期高齢者調整金額) の合計がマイナスの場合は、後期高齢者支援金分は還付される。なお、この場合であっても後期高齢者関係事務費抛出金分については別途抛出が必要となる。

I 令和2年度概算後期高齢者支援金額の算定式

<p>I</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 概算後期高齢者支援金額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動計算</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第120条第1項第2号)</p>	令和2年度当該保険者 概算後期高齢者支援金額	自動計算	円	=	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>I - 1</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度 後期高齢者支援金 加入者1人当たり 負担見込額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(省令第38条)</p> </td> <td style="width: 3%; text-align: center;">×</td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>I - 1</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 加入者見込数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項)</p> </td> <td style="width: 3%; text-align: center;">×</td> <td style="width: 24%; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度概算後期 高齢者支援金調整率</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> </table> <p>(法第120条第3項) (政令第25条の2の2)</p> </td> </tr> </table> <p>(1円未満の端数を切り捨て)</p>	<p>I - 1</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度 後期高齢者支援金 加入者1人当たり 負担見込額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(省令第38条)</p>	令和2年度 後期高齢者支援金 加入者1人当たり 負担見込額	国が示す値	円	×	<p>I - 1</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 加入者見込数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項)</p>	令和2年度当該保険者 加入者見込数	自動入力	人	×	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度概算後期 高齢者支援金調整率</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> </table> <p>(法第120条第3項) (政令第25条の2の2)</p>	令和2年度概算後期 高齢者支援金調整率	国が示す値
令和2年度当該保険者 概算後期高齢者支援金額																		
自動計算																		
円																		
<p>I - 1</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度 後期高齢者支援金 加入者1人当たり 負担見込額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(省令第38条)</p>	令和2年度 後期高齢者支援金 加入者1人当たり 負担見込額	国が示す値	円	×	<p>I - 1</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 加入者見込数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項)</p>	令和2年度当該保険者 加入者見込数	自動入力	人	×	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度概算後期 高齢者支援金調整率</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> </table> <p>(法第120条第3項) (政令第25条の2の2)</p>	令和2年度概算後期 高齢者支援金調整率	国が示す値						
令和2年度 後期高齢者支援金 加入者1人当たり 負担見込額																		
国が示す値																		
円																		
令和2年度当該保険者 加入者見込数																		
自動入力																		
人																		
令和2年度概算後期 高齢者支援金調整率																		
国が示す値																		

I - 1 当該保険者加入者見込数

<p>I - 1</p> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 加入者見込数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動計算</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項)</p>	令和2年度当該保険者 加入者見込数	自動計算	人	=	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該 保険者加入者数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">都道府県入力マスタ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項第1号)</p> </td> <td style="width: 3%; text-align: center;">×</td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度伸率</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項第2号)</p> </td> </tr> </table> <p>(1未満の端数を四捨五入)</p>	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該 保険者加入者数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">都道府県入力マスタ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項第1号)</p>	平成30年度当該 保険者加入者数	都道府県入力マスタ	人	×	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度伸率</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項第2号)</p>	令和2年度伸率	国が示す値
令和2年度当該保険者 加入者見込数													
自動計算													
人													
<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該 保険者加入者数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">都道府県入力マスタ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項第1号)</p>	平成30年度当該 保険者加入者数	都道府県入力マスタ	人	×	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度伸率</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項第2号)</p>	令和2年度伸率	国が示す値						
平成30年度当該 保険者加入者数													
都道府県入力マスタ													
人													
令和2年度伸率													
国が示す値													

II 平成30年度確定後期高齢者支援金額の算定式

$$\begin{array}{c}
 \text{II} \\
 \hline
 \text{平成30年度当該保険者} \\
 \text{確定後期高齢者} \\
 \text{支援金額} \\
 \hline
 \text{自動計算} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第121条第1項第2号)}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{c}
 \text{平成30年度後期高齢者} \\
 \text{支援金加入者} \\
 \text{1人当たり負担額} \\
 \hline
 \text{国が示す値} \\
 \text{円} \\
 \text{(省令第39条の2)}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{c}
 \text{平成30年度当該保険者} \\
 \text{加入者数} \\
 \hline
 \text{都道府県入力マスタ} \\
 \text{人} \\
 \text{(省令第20条第2項)}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{c}
 \text{平成30年度当該保険者} \\
 \text{確定後期高齢者} \\
 \text{支援金調整率} \\
 \hline
 \text{国が示す値} \\
 \text{(法第121条第2項)} \\
 \text{(政令第25条の3)}
 \end{array}$$

(1円未満の端数を切り捨て)

全国土木建築国民健康保険組合のみ以下の取扱に留意すること。

- 「平成30年度後期高齢者支援金の加算対象保険者への該当について」により、加算対象保険者に該当した旨を通知された場合は、通知に記載の加算率を用いること。
- 「平成30年度後期高齢者支援金の減算対象保険者への該当について」により、減算対象保険者に該当した旨を通知された場合は、通知に記載の減算率を用いること。
- 加算対象保険者又は減算対象保険者に該当した旨を通知されていない場合は、平成30年度加算・減算制度の対象外保険者であるため、「100分の100」を用いること。

Ⅲ 令和2年度当該保険者後期高齢者調整金額の算定式

<p>Ⅲ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 後期高齢者調整金額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">自動計算</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第119条第2項)</p>	令和2年度当該保険者 後期高齢者調整金額	自動計算	円	=	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; display: inline-block;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: top;"> <p>Ⅱ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 概算後期高齢者支援金額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">都道府県入力マスタ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第121条第1項第2号)</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">-</td> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 確定後期高齢者支援金額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第121条第1項第2号)</p> </td> </tr> </table> </div>	<p>Ⅱ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 概算後期高齢者支援金額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">都道府県入力マスタ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第121条第1項第2号)</p>	平成30年度当該保険者 概算後期高齢者支援金額	都道府県入力マスタ	円	-	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 確定後期高齢者支援金額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第121条第1項第2号)</p>	平成30年度当該保険者 確定後期高齢者支援金額	自動入力	円	×	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度後期高齢者 支援算定率</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> </table> <p>(省令第36条において準用する省令第3)</p>	令和2年度後期高齢者 支援算定率	国が示す値
令和2年度当該保険者 後期高齢者調整金額																		
自動計算																		
円																		
<p>Ⅱ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 概算後期高齢者支援金額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">都道府県入力マスタ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第121条第1項第2号)</p>	平成30年度当該保険者 概算後期高齢者支援金額	都道府県入力マスタ	円	-	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 確定後期高齢者支援金額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第121条第1項第2号)</p>	平成30年度当該保険者 確定後期高齢者支援金額	自動入力	円										
平成30年度当該保険者 概算後期高齢者支援金額																		
都道府県入力マスタ																		
円																		
平成30年度当該保険者 確定後期高齢者支援金額																		
自動入力																		
円																		
令和2年度後期高齢者 支援算定率																		
国が示す値																		

(1円未満の端数を切り捨て)

Ⅳ 令和2年度当該保険者後期高齢者関係事務費拠出金額の算定式

<p>Ⅳ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 後期高齢者 関係事務費拠出金額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">自動計算</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第122条) (省令第41条)</p>	令和2年度当該保険者 後期高齢者 関係事務費拠出金額	自動計算	円	=	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; display: inline-block;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: top;"> <p>Ⅰ-1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度後期高齢者 関係事務算定基礎額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(省令第41条において準用する省令第21条)</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">×</td> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 加入者見込数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項)</p> </td> </tr> </table> </div>	<p>Ⅰ-1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度後期高齢者 関係事務算定基礎額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(省令第41条において準用する省令第21条)</p>	令和2年度後期高齢者 関係事務算定基礎額	国が示す値	円	×	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 加入者見込数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項)</p>	令和2年度当該保険者 加入者見込数	自動入力	人
令和2年度当該保険者 後期高齢者 関係事務費拠出金額														
自動計算														
円														
<p>Ⅰ-1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度後期高齢者 関係事務算定基礎額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(省令第41条において準用する省令第21条)</p>	令和2年度後期高齢者 関係事務算定基礎額	国が示す値	円	×	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 加入者見込数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項)</p>	令和2年度当該保険者 加入者見込数	自動入力	人						
令和2年度後期高齢者 関係事務算定基礎額														
国が示す値														
円														
令和2年度当該保険者 加入者見込数														
自動入力														
人														

(1円未満の端数を切り捨て)

V 令和2年度後期高齢者支援金負担金額（一般分）の算定式

V

令和2年度後期高齢者 負担金額
自動計算

= 0.32 ×

令和2年度当該保険者 後期高齢者 支援金額
自動計算

※ 令和2年度当該保険者後期高齢者支援金額は下式により計算している。

令和2年度当該保険者後期高齢者支援金額
 = 「令和2年度当該保険者概算後期高齢者支援金額」 -
 （（「平成30年度当該保険者概算後期高齢者支援金額」 - 「平成30年度当該保険者確定後期高齢者支援金額」） + 「令和2年度後期高齢者調整金額」）
 - （「令和2年度当該保険者概算後期高齢者支援金額」 × 「令和2年度概算退職被保険者等所属割合」
 - （「平成30年度退職被保険者等に係る概算後期高齢者支援金相当額」 - 「平成30年度退職被保険者等に係る確定後期高齢者支援金相当額」
 + 「当該精算額に係る調整金額（後期高齢者分）」））

第7-B表 病床転換助成関係事務費負担金算定手順

病床転換助成関係事務費拠出金額の算定式

第7-A表のI-1を参照

令和2年度当該保険者 病床転換助成関係 事務費拠出金額
自動計算
円

=

令和2年度病床転換 助成関係事務 算定基礎額
国が示す値
円

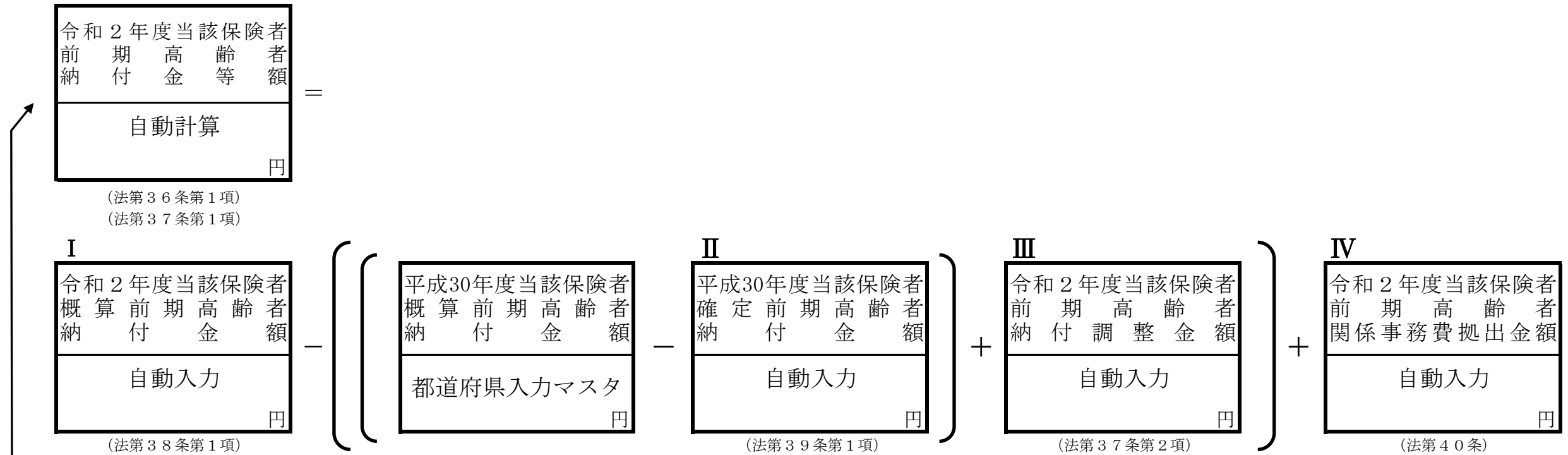
×

令和2年度当該保険者 加入者見込数
自動入力
人

(法附則第9条)
※円未満切捨
(省令附則第21条)

(省令附則第19条)
(省令第21条を準用)

第 8 表 前 期 高 齢 者 納 付 金 等 額 算 定 手 順 (被用者保険等保険者以外)

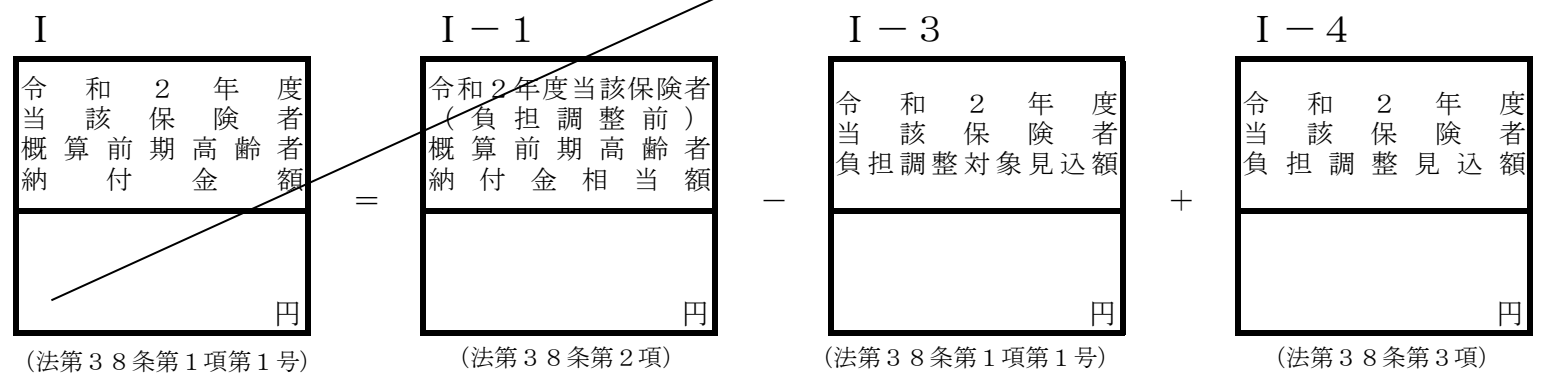
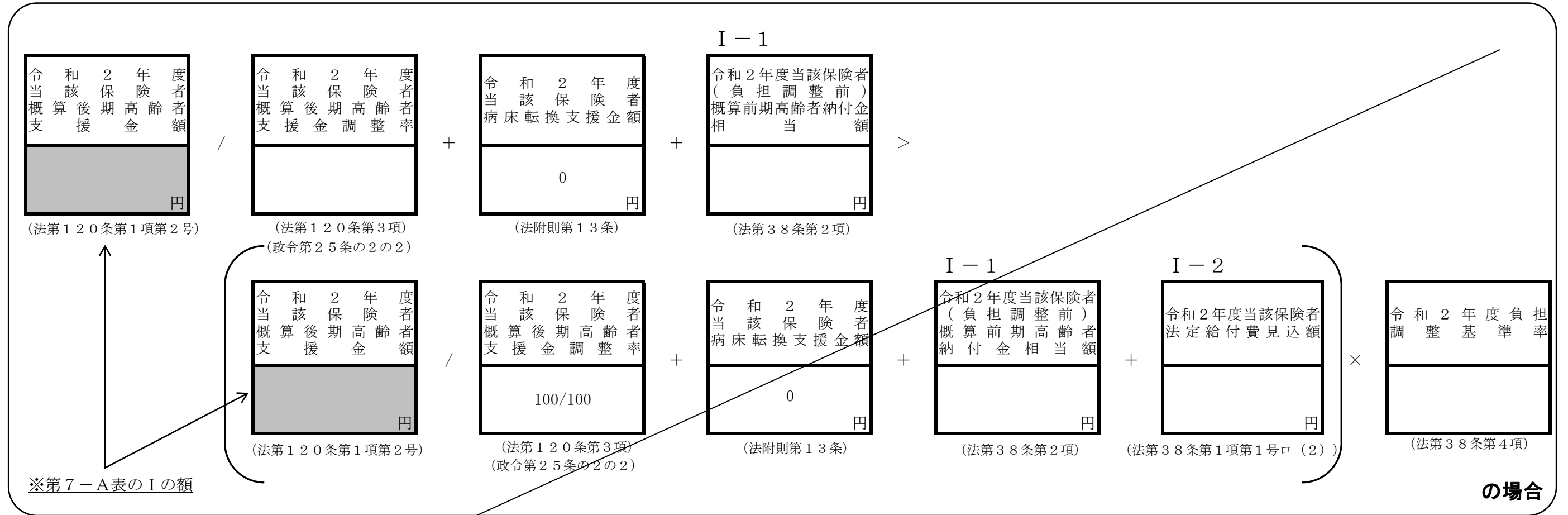


※ 法：高齢者の医療の確保に関する法律（昭和 5 7 年法律第 8 0 号）
 政令：前期高齢者交付金及び後期高齢者医療の国庫負担金の算定等に関する政令（平成 1 9 年政令第 3 2 5 号）
 省令：高齢者の医療の確保に関する法律による保険者の前期高齢者交付金等の額の算定等に関する省令（平成 1 9 年厚生労働省令第 1 4 0 号）

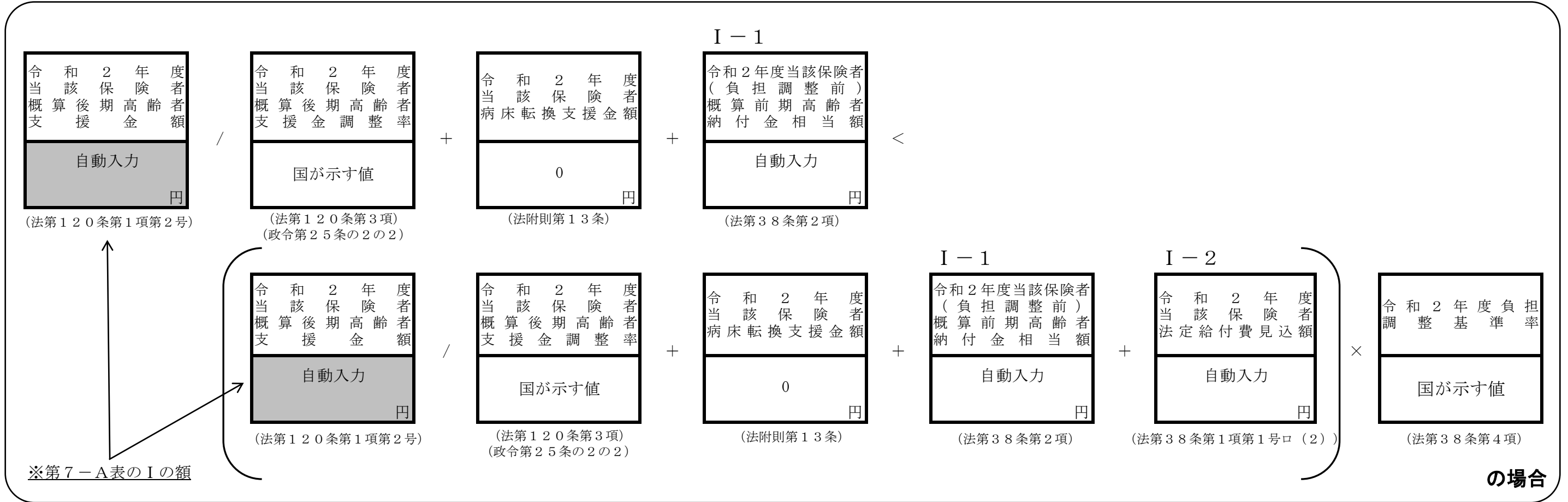
※ 諸係数については、政府予算案に基づく数値であり、予算編成のための暫定数値である。

※ 令和 2 年度概算前期高齢者納付金額 - ((平成 3 0 年度概算前期高齢者納付金額 - 平成 3 0 年度確定前期高齢者納付金額) + 令和 2 年度前期高齢者納付調整金額) の合計がマイナスの場合は、前期高齢者納付金分は還付される。なお、この場合であっても前期高齢者関係事務費拠出金分については別途拠出が必要となる。

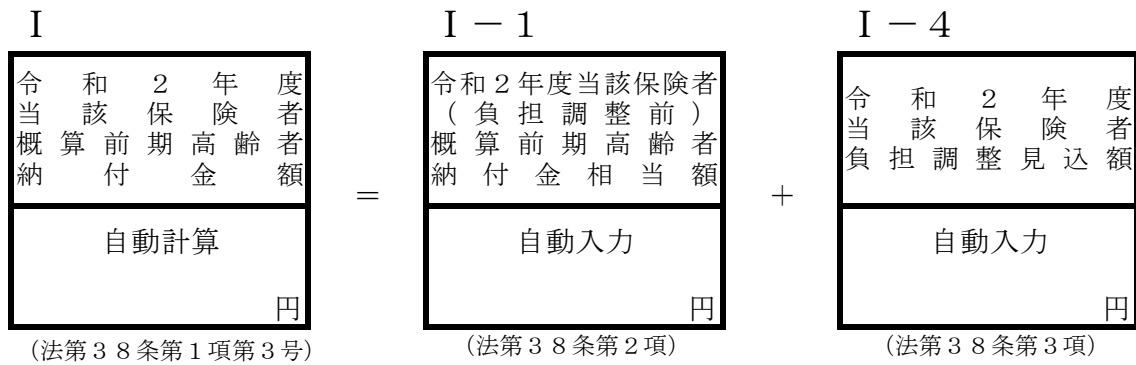
I 令和2年度 当該保険者 概算前期高齢者納付金額（概算負担調整基準超過保険者の場合）



I 令和2年度 当該保険者 概算前期高齢者納付金額（概算負担調整基準超過保険者以外の場合）



(法第38条第1項第3号)



I-1 令和2年度 当該保険者 負担調整前概算前期高齢者納付金相当額（当該額が零を下回る場合には、零とする。）

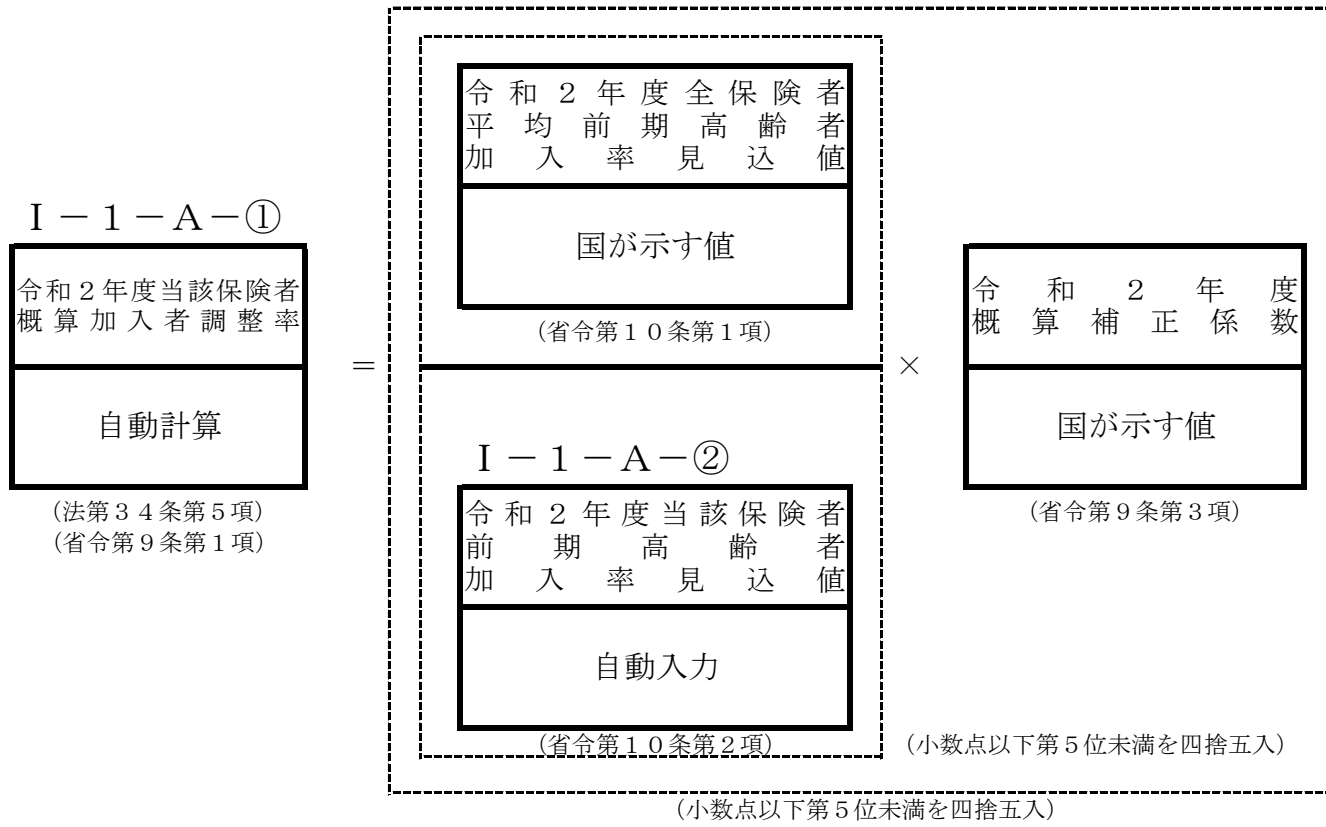
$$\begin{array}{c}
 \text{I-1} \\
 \hline
 \text{令和2年度当該保険者} \\
 \text{(負担調整前)} \\
 \text{概算前期高齢者} \\
 \text{納付金相当額} \\
 \hline
 \text{自動計算} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第38条第2項)}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{c}
 \text{I-1-A} \\
 \hline
 \text{令和2年度当該保険者} \\
 \text{概算調整対象基準額} \\
 \hline
 \text{自動入力} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第34条第3項)}
 \end{array}
 -
 \left[
 \begin{array}{c}
 \text{I-1-B} \\
 \hline
 \text{令和2年度当該保険者} \\
 \text{調整対象給付費額} \\
 \text{見込額} \\
 \hline
 \text{自動入力} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第34条第2項)}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{I-1-C} \\
 \hline
 \text{令和2年度当該保険者} \\
 \text{前期高齢者に係る} \\
 \text{後期高齢者支援金の} \\
 \text{概算額} \\
 \hline
 \text{自動入力} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第34条第1項第2号)}
 \end{array}
 \right]$$

I-1-A 令和2年度 当該保険者概算調整対象基準額

$$\begin{array}{c}
 \text{I-1-A} \\
 \hline
 \text{令和2年度当該保険者} \\
 \text{概算調整対象基準額} \\
 \hline
 \text{自動計算} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第34条第3項)}
 \end{array}
 =
 \left[
 \begin{array}{c}
 \text{I-1-B} \\
 \hline
 \text{令和2年度当該保険者} \\
 \text{調整対象給付費額} \\
 \text{見込額} \\
 \hline
 \text{自動入力} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第34条第2項)}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{I-1-C} \\
 \hline
 \text{令和2年度当該保険者} \\
 \text{前期高齢者に係る} \\
 \text{後期高齢者支援金の} \\
 \text{概算額} \\
 \hline
 \text{自動入力} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第34条第1項第2号)}
 \end{array}
 \right]
 \times
 \begin{array}{c}
 \text{I-1-A-①} \\
 \hline
 \text{令和2年度当該保険者} \\
 \text{概算加入者調整率} \\
 \hline
 \text{自動入力} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第34条第5項)}
 \end{array}$$

(1円未満の端数を切り捨て)

I-1-A-① 令和2年度 当該保険者概算加入者調整率



I-1-A-② 令和2年度 当該保険者前期高齢者加入率見込値

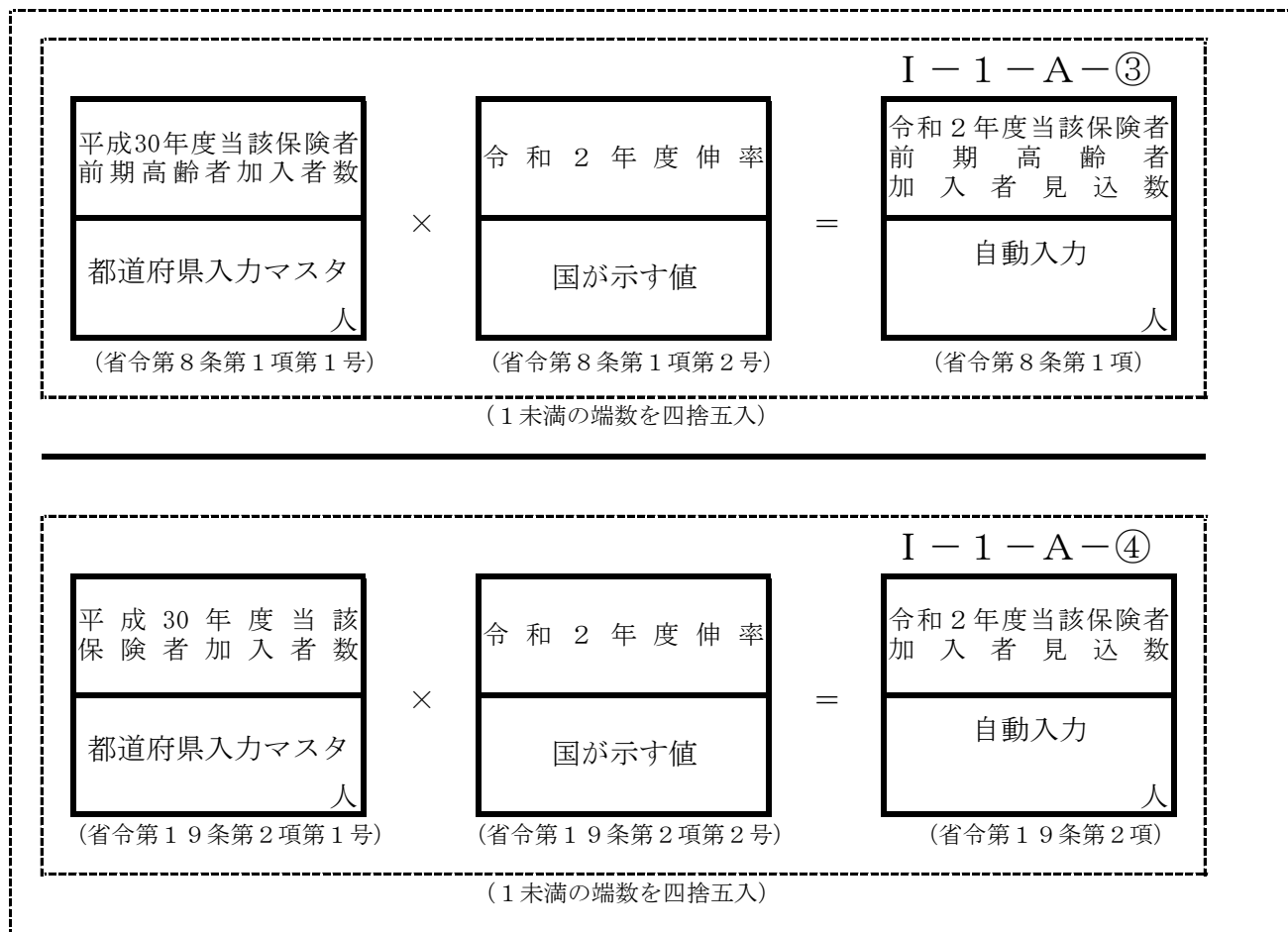
I-1-A-②

令和2年度当該保険者
前期高齢者
加入率見込値

自動計算

(省令第10条第2項)

=



※ 下限1.00/100に満たない場合は1.00/100とする。(法第34条第5項)

I-1-B 令和2年度 当該保険者調整対象給付費見込額

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{I-1-B} \\ \hline \text{令和2年度当該保険者} \\ \text{調整対象給付費見込額} \\ \hline \text{自動計算} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 =
 \begin{array}{|c|} \hline \text{I-1-B-①} \\ \hline \text{令和2年度当該保険者} \\ \text{前期高齢者給付費見込額} \\ \hline \text{自動入力} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 -
 \begin{array}{|c|} \hline \text{I-1-B-②} \\ \hline \text{令和2年度当該保険者} \\ \text{調整対象外給付費見込額} \\ \hline \text{自動入力} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}$$

(法第34条第2項)

(法第34条第2項第1号)

(法第34条第2項第2号)

I-1-B-① 令和2年度 当該保険者前期高齢者給付費見込額

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{I-1-B-①} \\ \hline \text{令和2年度当該保険者} \\ \text{前期高齢者給付費見込額} \\ \hline \text{自動計算} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 =
 \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度当該保険者} \\ \text{前期高齢者給付費額} \\ \hline \text{都道府県入力マスタ} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 \times
 \begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年度伸率} \\ \hline \text{国が示す値} \\ \hline \end{array}$$

(法第34条第2項第1号)
(省令第5条第1項)

(省令第5条第1項第1号)

(省令第5条第1項第2号)

(1円未満の端数を四捨五入)

I-1-B-② 令和2年度 当該保険者調整対象外給付費見込額 (当該額が零を下回る場合には、零とする。)

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{I-1-B-②} \\ \hline \text{令和2年度当該保険者} \\ \text{調整対象外給付費見込額} \\ \hline \text{自動計算} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 =
 \begin{array}{|c|} \hline \text{I-1-B-①} \\ \hline \text{令和2年度当該保険者} \\ \text{前期高齢者給付費見込額} \\ \hline \text{自動入力} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 -
 \left(
 \begin{array}{|c|} \hline \text{I-1-A-③} \\ \hline \text{令和2年度当該保険者} \\ \text{前期高齢者加入者見込数} \\ \hline \text{自動入力} \\ \hline \text{人} \\ \hline \end{array}
 \times
 \begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年度全保険者} \\ \text{1人平均前期高齢者} \\ \text{給付費見込額} \\ \hline \text{国が示す値} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 \times
 \begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年度調整} \\ \text{対象外基準率} \\ \hline \text{国が示す値} \\ \hline \end{array}
 \right)$$

(法第34条第2項第2号)
(省令第6条第1項)

(法第34条第2項第1号)

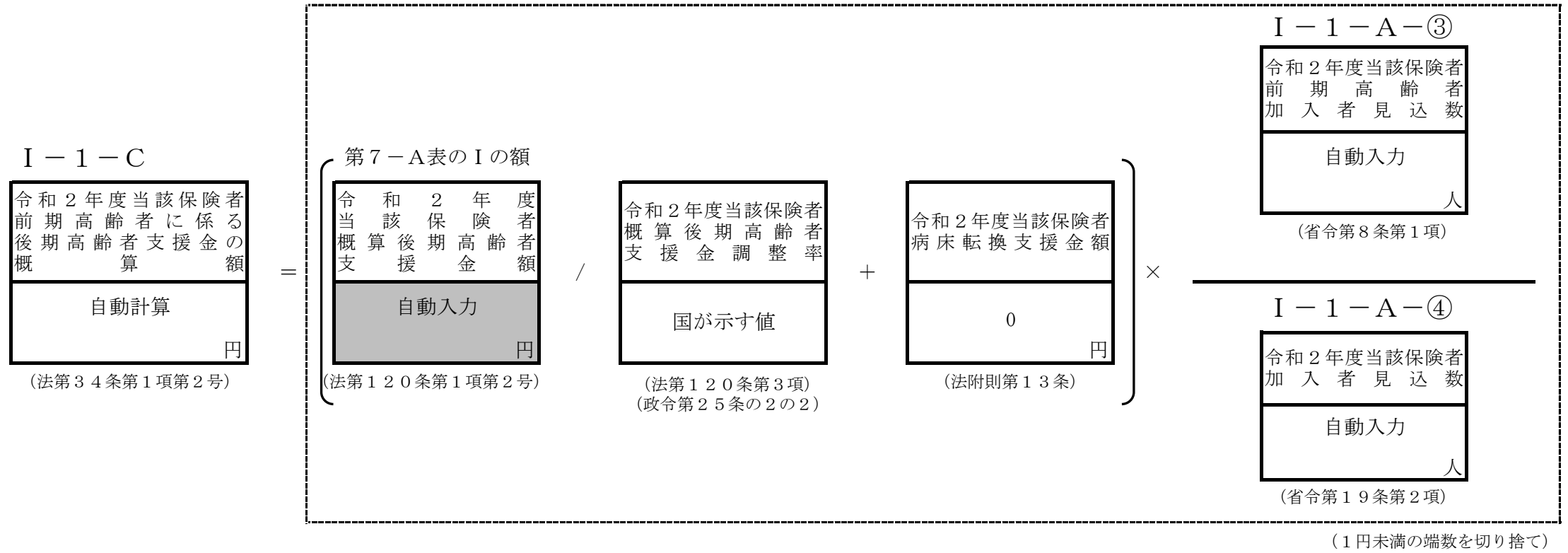
(省令第8条第1項)

(法第34条第6項)
(省令第11条)

(法第34条第2項第2号)

(1円未満の端数を四捨五入)

I-1-C 令和2年度 当該保険者前期高齢者に係る後期高齢者支援金の概算額



I - 2 令和2年度 当該保険者法定給付費見込額

I - 2

令和2年度当該保険者 法定給付費見込額
自動計算 円

(法第38条第1項第1号ロ(2))
(省令第18条第1項)

=

I - 2 - A

令和2年度当該保険者 給付費見込額 (若人の給付費額)
自動入力 円

(省令第18条第1項第1号)

+

I - 2 - B

令和2年度当該保険者 日雇拋出金見込額
 円

(省令第18条第1項第2号)

+

I - 2 - C

令和2年度当該保険者 療養給付費等 拋出金見込額
 円

(省令第18条第1項第3号)

I-2-A 令和2年度 当該保険者給付費見込額（若人の給付費額）

I-2-A

令和2年度当該保険者 給付費見込額 (若人の給付費額)
自動計算
円

(省令第18条第1項第1号)

=

平成30年度当該保険者 給付費額 (若人の給付費額)
都道府県入力マスタ
円

(省令第18条第1項第1号イ)

×

令和2年度伸率
国が示す値

(省令第18条第1項第1号ロ)

(1円未満の端数を四捨五入)

I-2-B 令和2年度 当該保険者日雇拋出金見込額

I-2-B

令和2年度当該保険者 日雇拋出金見込額
円

(省令第18条第1項第2号)

=

平成30年度当該保険者 確定日雇拋出金額
円

(省令第18条第1項第2号イ)

×

令和2年度伸率
国が示す値

(省令第18条第1項第2号ロ)

(1円未満の端数を四捨五入)

I-2-C 令和2年度 当該保険者療養給付費等拋出金見込額

I-2-C

令和2年度当該保険者 療養給付費等 拋出金見込額
円

(省令第18条第1項第3号)

=

平成30年度当該保険者 確定療養給付費等 拋出金額
円

(省令第18条第1項第3号イ)

×

令和2年度伸率
国が示す値

(省令第18条第1項第3号ロ)

(1円未満の端数を四捨五入)

I-3 令和2年度 当該保険者負担調整対象見込額 { 当該額が、負担調整前概算前期高齢者納付金相当額を上回るときは、負担調整前概算前期高齢者納付金相当額とする。 }

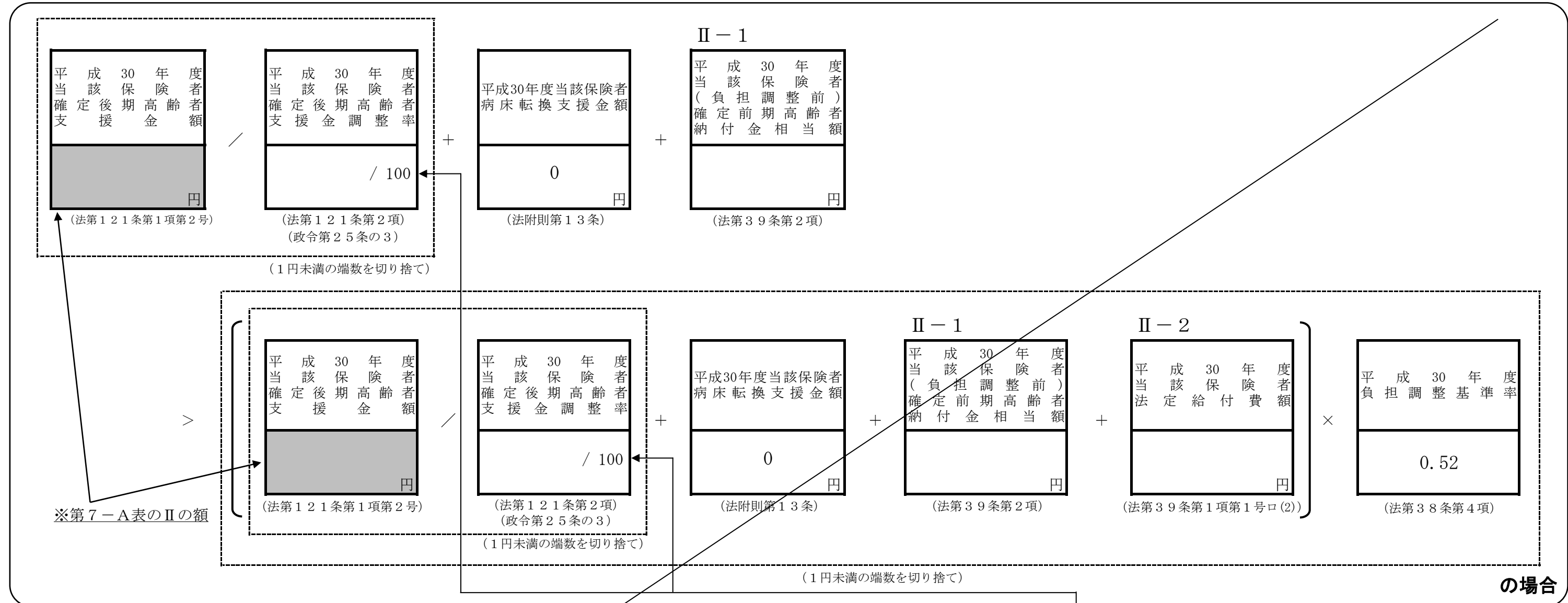
$$\begin{array}{c}
 \text{I-3} \\
 \text{令和2年度当該保険者負担調整対象見込額} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第38条第1項第1号)}
 \end{array}
 =
 \left(
 \begin{array}{c}
 \text{令和2年度当該保険者概算後期高齢者支援金額} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第120条第1項第2号)}
 \end{array}
 \div
 \begin{array}{c}
 \text{令和2年度当該保険者概算後期高齢者支援金調整率} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第120条第3項)} \\
 \text{(政令第25条の2の2)}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{令和2年度当該保険者病床転換支援金額} \\
 \text{円} \\
 \text{0} \\
 \text{(法附則第13条)}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{I-1} \\
 \text{令和2年度当該保険者(負担調整前)概算前期高齢者納付金相当額} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第38条第2項)}
 \end{array}
 \right)
 -
 \left(
 \begin{array}{c}
 \text{令和2年度当該保険者概算後期高齢者支援金額} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第120条第1項第2号)}
 \end{array}
 \div
 \begin{array}{c}
 \text{令和2年度当該保険者概算後期高齢者支援金調整率} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第120条第3項)} \\
 \text{(政令第25条の2の2)}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{令和2年度当該保険者病床転換支援金額} \\
 \text{円} \\
 \text{0} \\
 \text{(法附則第13条)}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{I-1} \\
 \text{令和2年度当該保険者(負担調整前)概算前期高齢者納付金相当額} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第38条第2項)}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{I-2} \\
 \text{令和2年度当該保険者法定給付費見込額} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第38条第1項第1号ロ(2))}
 \end{array}
 \right)
 \times
 \begin{array}{c}
 \text{令和2年度負担調整基準率} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第38条第4項)}
 \end{array}$$

※第7-A表のIの額 (1円未満の端数を切り捨て)

I-4 令和2年度 当該保険者負担調整見込額

$$\begin{array}{c}
 \text{I-4} \\
 \text{令和2年度当該保険者負担調整見込額} \\
 \text{円} \\
 \text{(法第38条第3項)}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{c}
 \text{令和2年度1人当たりの負担調整対象見込額} \\
 \text{円} \\
 \text{国が示す値} \\
 \text{(省令第19条の2)}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{c}
 \text{I-1-A-④} \\
 \text{令和2年度当該保険者加入者見込数} \\
 \text{人} \\
 \text{自動入力} \\
 \text{(省令第19条第2項)}
 \end{array}
 \times
 \begin{array}{c}
 \text{令和2年度概算負担調整額調整率} \\
 \text{円} \\
 \text{国が示す値} \\
 \text{(法第38条第6項)}
 \end{array}$$

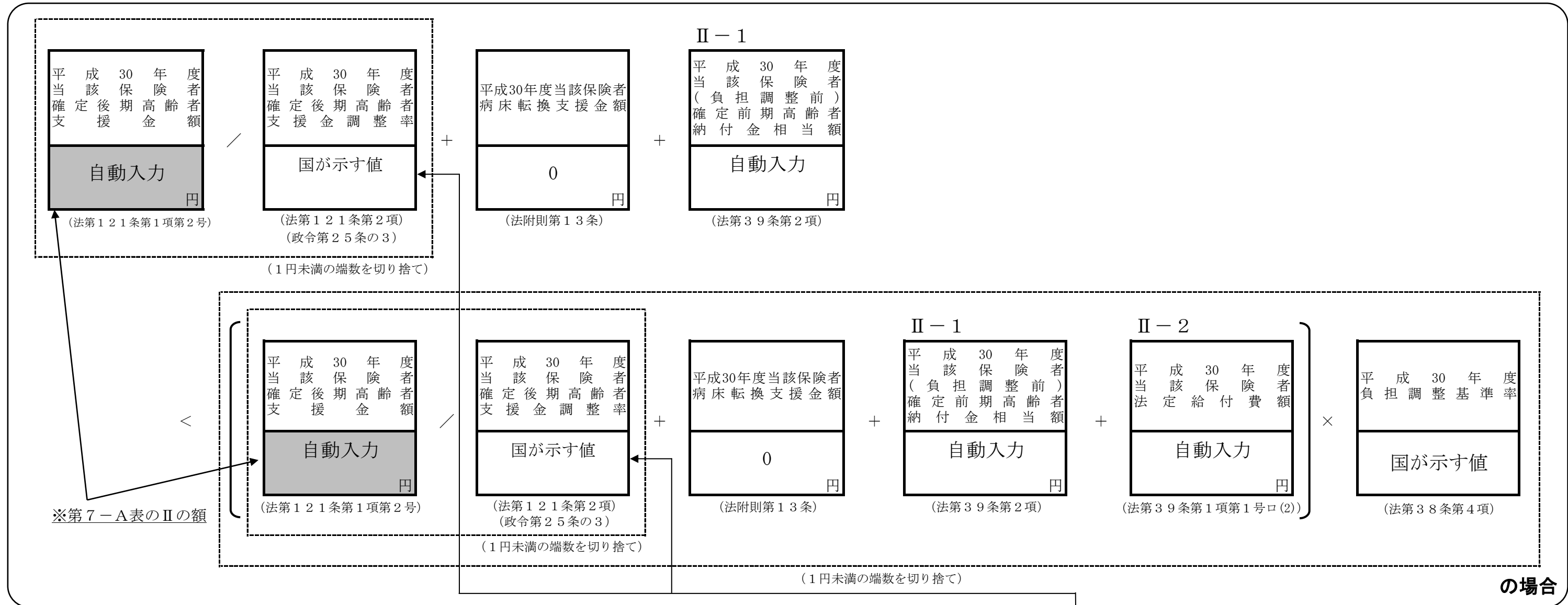
II 平成30年度 当該保険者 確定前期高齢者納付金額（確定負担調整基準超過保険者の場合）



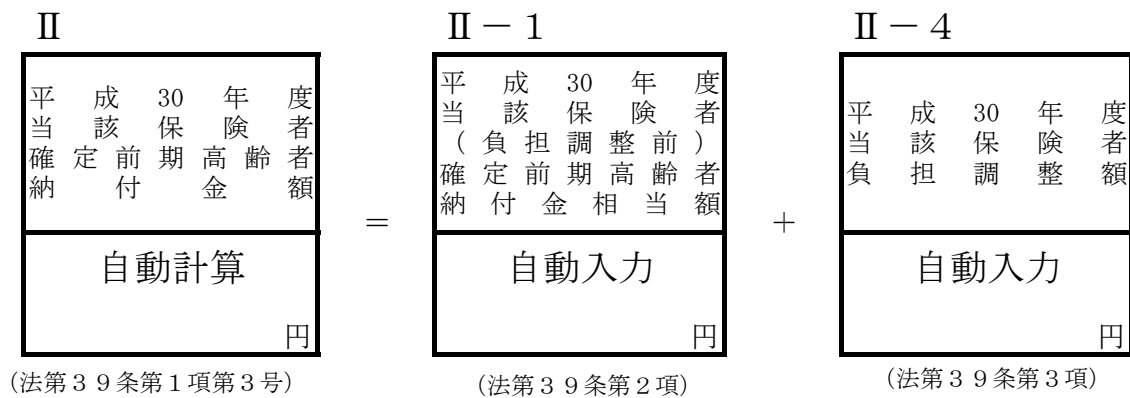
$$\begin{array}{c} \text{II} \\ \text{平成30年度} \\ \text{当該保険者} \\ \text{確定前期高齢者} \\ \text{納付金額} \\ \text{円} \\ \text{(法第39条第1項第1号)} \end{array} = \begin{array}{c} \text{II-1} \\ \text{平成30年度} \\ \text{当該保険者} \\ \text{(負担調整前)} \\ \text{確定前期高齢者} \\ \text{納付金額相当額} \\ \text{円} \\ \text{(法第39条第2項)} \end{array} - \begin{array}{c} \text{II-3} \\ \text{平成30年度} \\ \text{当該保険者} \\ \text{負担調整対象額} \\ \text{円} \\ \text{(法第39条第1項第1号)} \end{array} + \begin{array}{c} \text{II-4} \\ \text{平成30年度} \\ \text{当該保険者} \\ \text{負担調整額} \\ \text{円} \\ \text{(法第39条第3項)} \end{array}$$

- 「平成30年度後高齢者支援金の加算対象保険者への該当について」により、加算対象保険者に該当した旨を通知された保険者は、「100分の100.23」を用いること。
- 「平成30年度後高齢者支援金の減算対象保険者への該当について」により、減算対象保険者に該当した旨を通知された保険者は、「100分の99.9442048901」を用いること。
- 加算対象保険者又は減算対象保険者に該当した旨を通知されていない保険者は、平成30年度加算・減算制度の対象外保険者であるため、「100分の100」を用いること。

II 平成30年度 当該保険者 確定前期高齢者納付金額（確定負担調整基準超過保険者以外の場合）



(法第39条第1項第3号)



全国土木建築国民健康保険組合のみ以下の取扱に留意すること。

- 「平成30年度後期高齢者支援金の加算対象保険者への該当について」により、加算対象保険者に該当した旨を通知された場合は、通知に記載の加算率を用いること。
- 「平成30年度後期高齢者支援金の減算対象保険者への該当について」により、減算対象保険者に該当した旨を通知された場合は、通知に記載の減算率を用いること。
- 加算対象保険者又は減算対象保険者に該当した旨を通知されていない場合は、平成30年度加算・減算制度の対象外保険者であるため、「100分の100」を用いること。

Ⅱ－1 平成30年度 負担調整前確定前期高齢者納付金相当額（当該額が零を下回る場合には、零とする。）

<p>Ⅱ－1</p> <p>平成30年度 当該保険者 (負担調整前) 確定前期高 齢者納付金 相当額</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>自動計算</p> <p>円</p> <p>(法第39条第2項)</p>	=	<p>Ⅱ－1－A</p> <p>平成30年度 当該保険者 確定調整対 象基準額</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>自動入力</p> <p>円</p> <p>(法第35条第3項)</p>	-	<p>Ⅱ－1－B</p> <p>平成30年度 当該保険者 調整対象給 付費額</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>自動入力</p> <p>円</p> <p>(法第35条第2項)</p>	+	<p>Ⅱ－1－C</p> <p>平成30年度 当該保険者 前期高齢者 に係る後期 高齢者支援 金の確定額</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>自動入力</p> <p>円</p> <p>(法第35条第1項第2号)</p>
--	---	---	---	--	---	---

Ⅱ－1－A 平成30年度 当該保険者確定調整対象基準額

<p>Ⅱ－1－A</p> <p>平成30年度 当該保険者 確定調整対 象基準額</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>自動計算</p> <p>円</p> <p>(法第35条第3項)</p>	=	<p>Ⅱ－1－B</p> <p>平成30年度 当該保険者 調整対象給 付費額</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>自動入力</p> <p>円</p> <p>(法第35条第2項)</p>	+	<p>Ⅱ－1－C</p> <p>平成30年度 当該保険者 前期高齢者 に係る後期 高齢者支援 金の確定額</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>自動入力</p> <p>円</p> <p>(法第35条第1項第2号)</p>	×	<p>Ⅱ－1－A－①</p> <p>平成30年度 当該保険者 確定加入者 調整率</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p>自動入力</p> <p>円</p> <p>(法第35条第5項)</p>
---	---	--	---	---	---	--

(1円未満の端数を切り捨て)

Ⅱ－１－Ａ－① 平成30年度 当該保険者確定加入者調整率

Ⅱ－１－Ａ－①

平成30年度 当該保険者 確定加入者調整率
自動計算

(法第35条第5項)
(省令第15条により準用された
省令第9条第1項)

=

<p>平成30年度全保険者 平均前期高齢者率 加入率</p> <p>国が示す値</p> <p>(省令第15条により準用された 省令第10条第1項)</p>	×	<p>平成30年度 確定補正係数</p> <p>国が示す値</p> <p>(省令第15条により準用された 省令第9条第3項)</p>		
<p>Ⅱ－１－Ａ－②</p> <table border="1"> <tr> <td>平成30年度 当該保険者 前期高齢者率 加入率</td> </tr> <tr> <td>自動入力</td> </tr> </table> <p>(省令第15条により準用された 省令第10条第2項)</p>			平成30年度 当該保険者 前期高齢者率 加入率	自動入力
平成30年度 当該保険者 前期高齢者率 加入率				
自動入力				

(小数点以下第5位未満を四捨五入)

(小数点以下第5位未満を四捨五入)

(小数点以下第5位未満を四捨五入)

Ⅱ－１－Ａ－② 平成30年度 当該保険者前期高齢者加入率

Ⅱ－１－Ａ－②
 平成30年度
 当該保険者
 前期高齢者
 加入率
 自動計算

(省令第15条により
 準用された省令第10
 条第2項)

=

Ⅱ－１－Ａ－③				
平	成	30	年	度
当	該	保	險	者
前	期	高	齡	者
加	入	者	数	
都道府県入力マスタ				
人				
(省令第8条第1項第1号)				
Ⅱ－１－Ａ－④				
平	成	30	年	度
当	該	保	險	者
加	入	者	数	
都道府県入力マスタ				
人				
(省令第20条第2項)				

(小数点以下第8位未満を四捨五入)

※ 下限1.00/100に満たない場合は1.00/100とする。(法第35条第5項)

II-1-B 平成30年度 当該保険者調整対象給付費額

II-1-B

平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額
自動計算 円

(法第35条第2項)

=

II-1-B-①

平成30年度 当該保険者 前期高齢者給付費額
自動入力 円

(法第35条第2項第1号)

-

II-1-B-②

平成30年度 当該保険者 調整対象外給付費額
自動入力 円

(法第35条第2項第2号)

II-1-B-① 平成30年度 当該保険者前期高齢者給付費額

II-1-B-①

平成30年度 当該保険者 前期高齢者給付費額
自動入力 円

(法第35条第2項第1号)

=

平成30年度 当該保険者 前期高齢者給付費額
都道府県入力マスタ 円

(省令第12条第1項)

II-1-B-② 平成30年度 当該保険者調整対象外給付費額 (当該額が零を下回る場合には、零とする。)

II-1-B-②

平成30年度 当該保険者 調整対象外給付費額
自動計算 円

(法第35条第2項第2号)
(省令第13条第1項)

=

II-1-B-①

平成30年度 当該保険者 前期高齢者給付費額
自動入力 円

(省令第12条第1項)

-

II-1-A-③

平成30年度 当該保険者 前期高齢者加入者数
自動入力 人

(省令第8条第1項第1号)

×

平成30年度全保険者 1人平均前期高齢者 給付費額
国が示す値 円

(法第35条第6項)
(省令第16条)

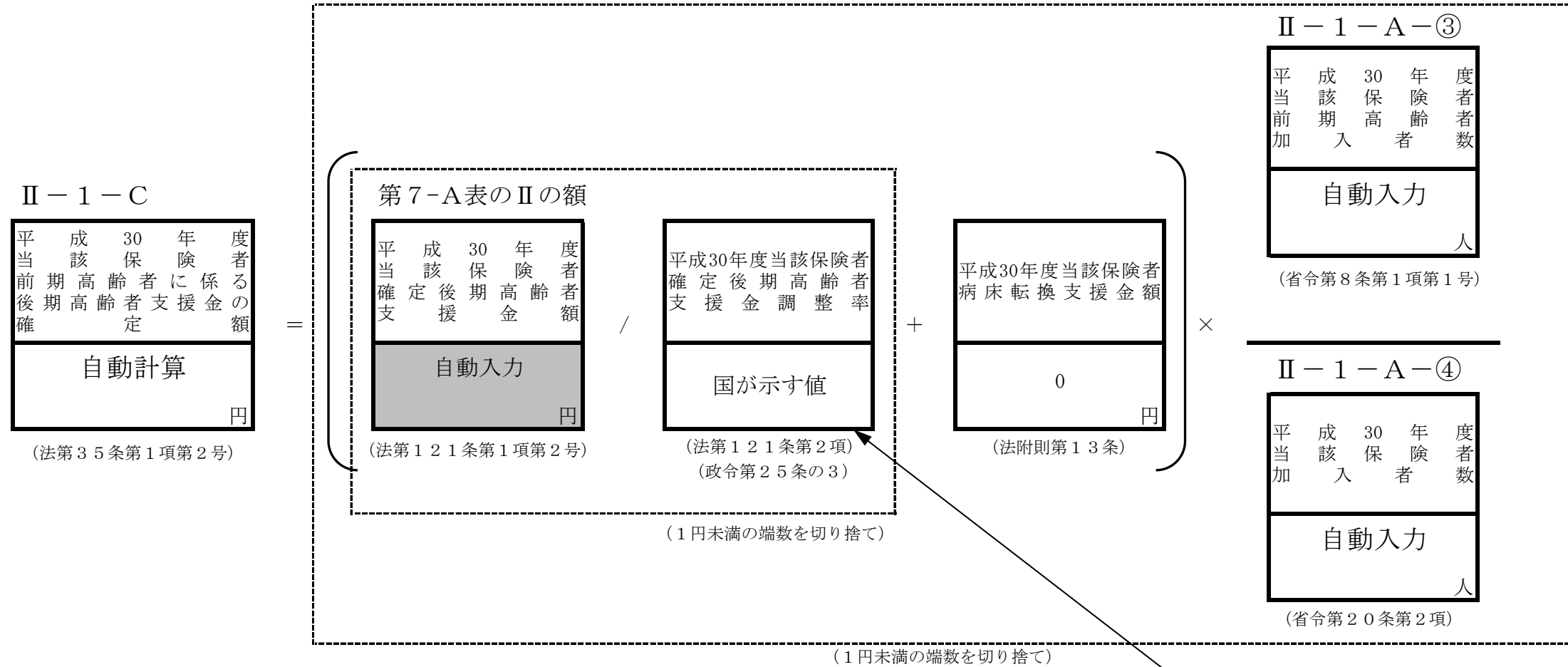
×

平成30年度 調整対象外基準率
国が示す値

(法第35条第2項第2号)

(1円未満の端数を四捨五入)

Ⅱ-1-C 平成30年度 当該保険者前期高齢者に係る後期高齢者支援金の確定額



全国土木建築国民健康保険組合のみ以下の取扱に留意すること。

- 「平成30年度後期高齢者支援金の加算対象保険者への該当について」により、加算対象保険者に該当した旨を通知された場合は、通知に記載の加算率を用いること。
- 「平成30年度後期高齢者支援金の減算対象保険者への該当について」により、減算対象保険者に該当した旨を通知された場合は、通知に記載の減算率を用いること。
- 加算対象保険者又は減算対象保険者に該当した旨を通知されていない場合は、平成30年度加算・減算制度の対象外保険者であるため、「100分の100」を用いること。

II - 2 平成30年度 当該保険者法定給付費額

II - 2

平成30年度 当該保険者 法定給付費額
自動計算 円

(法第39条第1項第1号ロ(2))

=

平成30年度 当該保険者 給付費額 (若人の給付費額)
都道府県入力マスタ 円

(省令第18条第1項第1号イ)

+

平成30年度 当該保険者 日雇拠出金額
円

(省令第18条第1項第2号イ)

+

平成30年度当該保険者 療養給付費等 拠出金額
円

(省令第18条第1項第3号イ)

II-3 平成30年度 当該保険者負担調整対象額

〔当該額が、負担調整前確定前期高齢者納付金相当額を上回るときは、負担調整前確定前期高齢者納付金相当額とする。〕

II-3

平成30年度 当該保険者 負担調整対象額
円

(法第39条第1項第1号)

$$\left(\frac{\text{平成30年度当該保険者
負担調整対象額}}{\text{平成30年度当該保険者
負担調整対象額}} \div \frac{\text{平成30年度当該保険者
負担調整対象額}}{\text{平成30年度当該保険者
負担調整対象額}} + \text{平成30年度当該保険者
病床転換支援金額} + \text{平成30年度当該保険者
負担調整前
確定前期高齢者
納付金相当額} \right)$$

II-1

平成30年度 当該保険者 (負担調整前) 確定前期高齢者 納付金相当額
円

(法第39条第2項)

○ 「平成30年度後期高齢者支援金の加算対象保険者への該当について」により、加算対象保険者に該当した旨を通知された保険者は、「100分の100.23」を用いること。
 ○ 「平成30年度後期高齢者支援金の減算対象保険者への該当について」により、減算対象保険者に該当した旨を通知された保険者は、「100分の99.9442048901」を用いること。
 ○ 加算対象保険者又は減算対象保険者に該当した旨を通知されていない保険者は、平成30年度加算・減算制度の対象外保険者である

※第7-A表のIIの額

$$\left(\frac{\text{平成30年度当該保険者
負担調整対象額}}{\text{平成30年度当該保険者
負担調整対象額}} \div \frac{\text{平成30年度当該保険者
負担調整対象額}}{\text{平成30年度当該保険者
負担調整対象額}} + \text{平成30年度当該保険者
病床転換支援金額} + \text{平成30年度当該保険者
負担調整前
確定前期高齢者
納付金相当額} + \frac{\text{平成30年度当該保険者
法定給付費額}}{\text{平成30年度
負担調整基準率}} \right) \times \text{平成30年度
負担調整基準率}$$

(1円未満の端数を切り捨て)

II-4 平成30年度 当該保険者負担調整額 (低医療費水準保険者の場合)

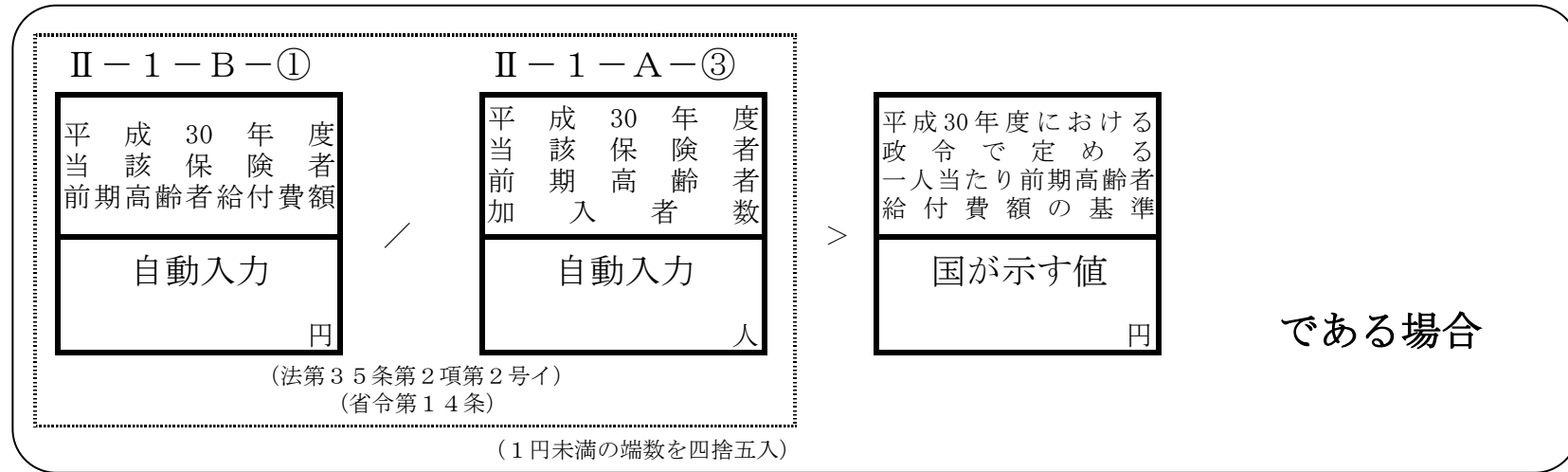
$$\frac{\text{II-1-B-①}}{\text{II-1-A-③}} \leq \text{国が示す値} \quad \text{である場合}$$

(政令第1条の9第1項第1号)

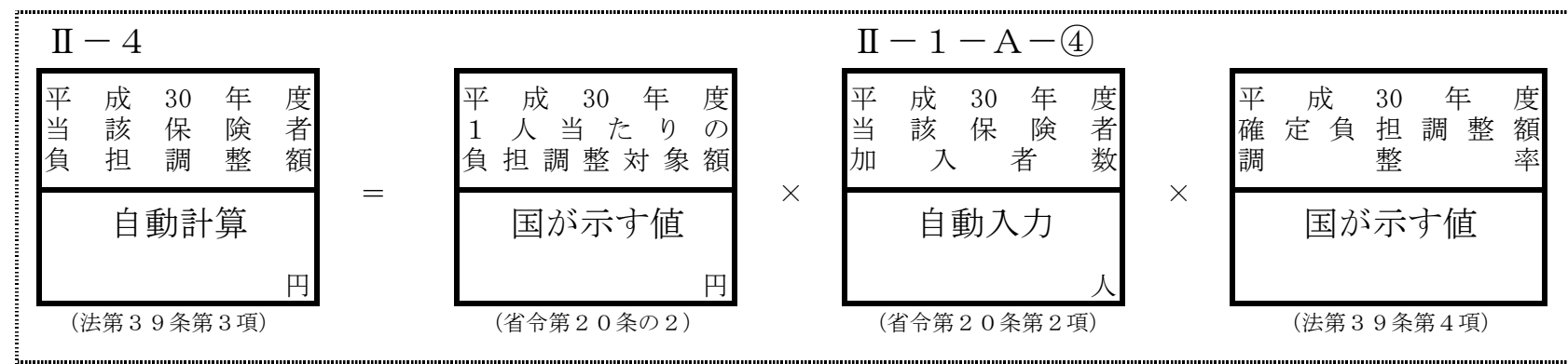
$$\text{II-4} = \text{II-1-A-④} \times \text{II-1-A-④} \times \text{II-1-A-④}$$

(1円未満の端数を切り捨て)

Ⅱ－４ 平成30年度 当該保険者負担調整額（低医療費水準保険者以外の場合）



(政令第1条の9第1項第2号)



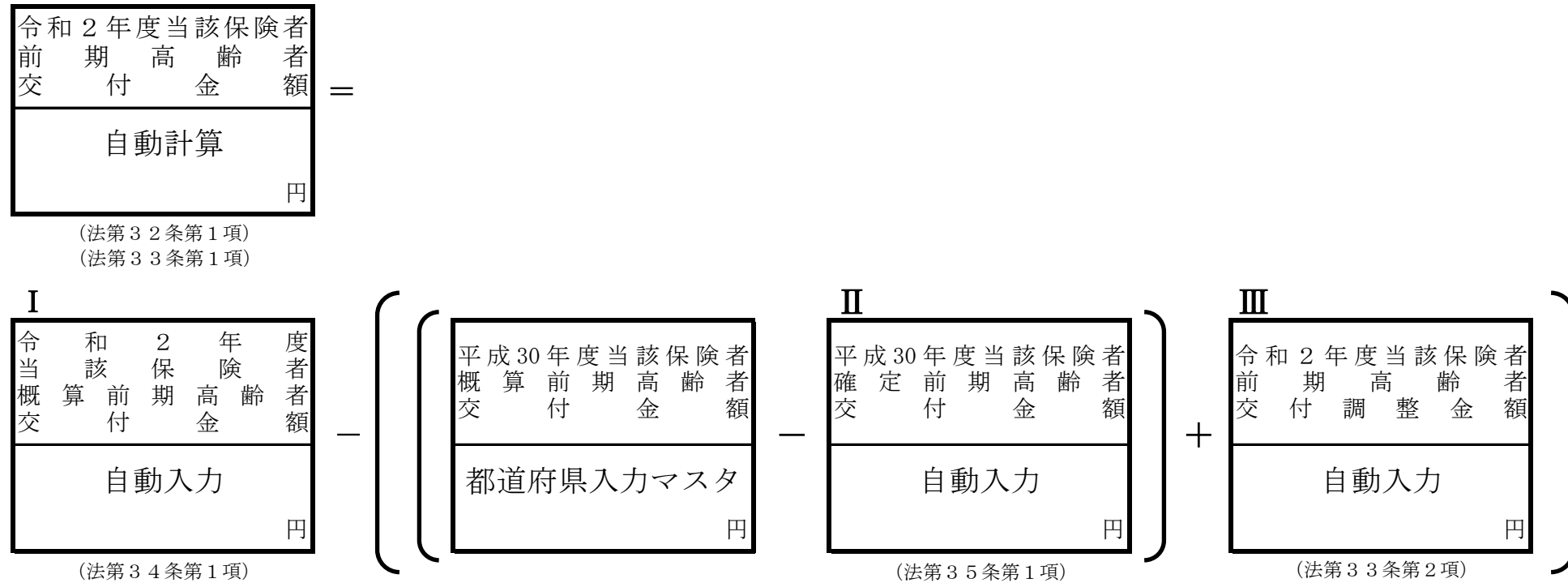
Ⅲ 令和2年度 当該保険者 前期高齢者納付調整金額の算定式

<p>Ⅲ</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 前期高齢者 納付調整金額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動計算</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第37条第2項)</p>	令和2年度当該保険者 前期高齢者 納付調整金額	自動計算	円	=	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>Ⅱ</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 概算前期高齢者 納付金額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">都道府県入力マスタ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第39条第1項)</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">-</td> <td style="width: 45%; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 確定前期高齢者 納付金額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第39条第1項)</p> </td> </tr> </table> <p>(1円未満の端数を切り捨て)</p>	<p>Ⅱ</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 概算前期高齢者 納付金額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">都道府県入力マスタ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第39条第1項)</p>	平成30年度当該保険者 概算前期高齢者 納付金額	都道府県入力マスタ	円	-	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 確定前期高齢者 納付金額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第39条第1項)</p>	平成30年度当該保険者 確定前期高齢者 納付金額	自動入力	円	×	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度前期高齢者 納付算定率</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> </table> <p>(省令第17条において準用する省令第3条)</p>	令和2年度前期高齢者 納付算定率	国が示す値
令和2年度当該保険者 前期高齢者 納付調整金額																		
自動計算																		
円																		
<p>Ⅱ</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 概算前期高齢者 納付金額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">都道府県入力マスタ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第39条第1項)</p>	平成30年度当該保険者 概算前期高齢者 納付金額	都道府県入力マスタ	円	-	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度当該保険者 確定前期高齢者 納付金額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第39条第1項)</p>	平成30年度当該保険者 確定前期高齢者 納付金額	自動入力	円										
平成30年度当該保険者 概算前期高齢者 納付金額																		
都道府県入力マスタ																		
円																		
平成30年度当該保険者 確定前期高齢者 納付金額																		
自動入力																		
円																		
令和2年度前期高齢者 納付算定率																		
国が示す値																		

Ⅳ 令和2年度 当該保険者 前期高齢者関係事務費拠出金額の算定式

<p>Ⅳ</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 前期高齢者関係 事務費拠出金額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動計算</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第40条) (省令第21条)</p>	令和2年度当該保険者 前期高齢者関係 事務費拠出金額	自動計算	円	=	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度 前期高齢者関係 事務算定基礎額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(省令第21条)</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">×</td> <td style="width: 45%; vertical-align: top;"> <p>I-1-A-④</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 加入者見込数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項)</p> </td> </tr> </table> <p>(1円未満の端数を切り捨て)</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度 前期高齢者関係 事務算定基礎額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(省令第21条)</p>	令和2年度 前期高齢者関係 事務算定基礎額	国が示す値	円	×	<p>I-1-A-④</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 加入者見込数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項)</p>	令和2年度当該保険者 加入者見込数	自動入力	人
令和2年度当該保険者 前期高齢者関係 事務費拠出金額														
自動計算														
円														
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度 前期高齢者関係 事務算定基礎額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">国が示す値</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(省令第21条)</p>	令和2年度 前期高齢者関係 事務算定基礎額	国が示す値	円	×	<p>I-1-A-④</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">令和2年度当該保険者 加入者見込数</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">人</td> </tr> </table> <p>(省令第19条第2項)</p>	令和2年度当該保険者 加入者見込数	自動入力	人						
令和2年度 前期高齢者関係 事務算定基礎額														
国が示す値														
円														
令和2年度当該保険者 加入者見込数														
自動入力														
人														

第 9 表 前 期 高 齡 者 交 付 金 額 算 定 手 順 (被用者保険等保険者以外)



※ 法：高齢者の医療の確保に関する法律（昭和 5 7 年法律第 8 0 号）
 政令：前期高齢者交付金及び後期高齢者医療の国庫負担金の算定等に関する政令（平成 1 9 年政令第 3 2 5 号）
 省令：高齢者の医療の確保に関する法律による保険者の前期高齢者交付金等の額の算定等に関する省令（平成 1 9 年厚生労働省令第 1 4 0 号）

※ 諸係数については、政府予算案に基づく数値であり、予算編成のための暫定数値である。

※ 令和 2 年度概算前期高齢者交付金額 - ((平成 3 0 年度概算前期高齢者交付金額 - 平成 3 0 年度確定前期高齢者交付金額) + 令和 2 年度前期高齢者交付調整金額) の合計がマイナスの場合は、前期高齢者交付金分は、社会保険診療報酬支払基金に返還することとなる。

I 令和2年度 当該保険者 概算前期高齢者交付金額（当該額が零を下回る場合には、零とする。）

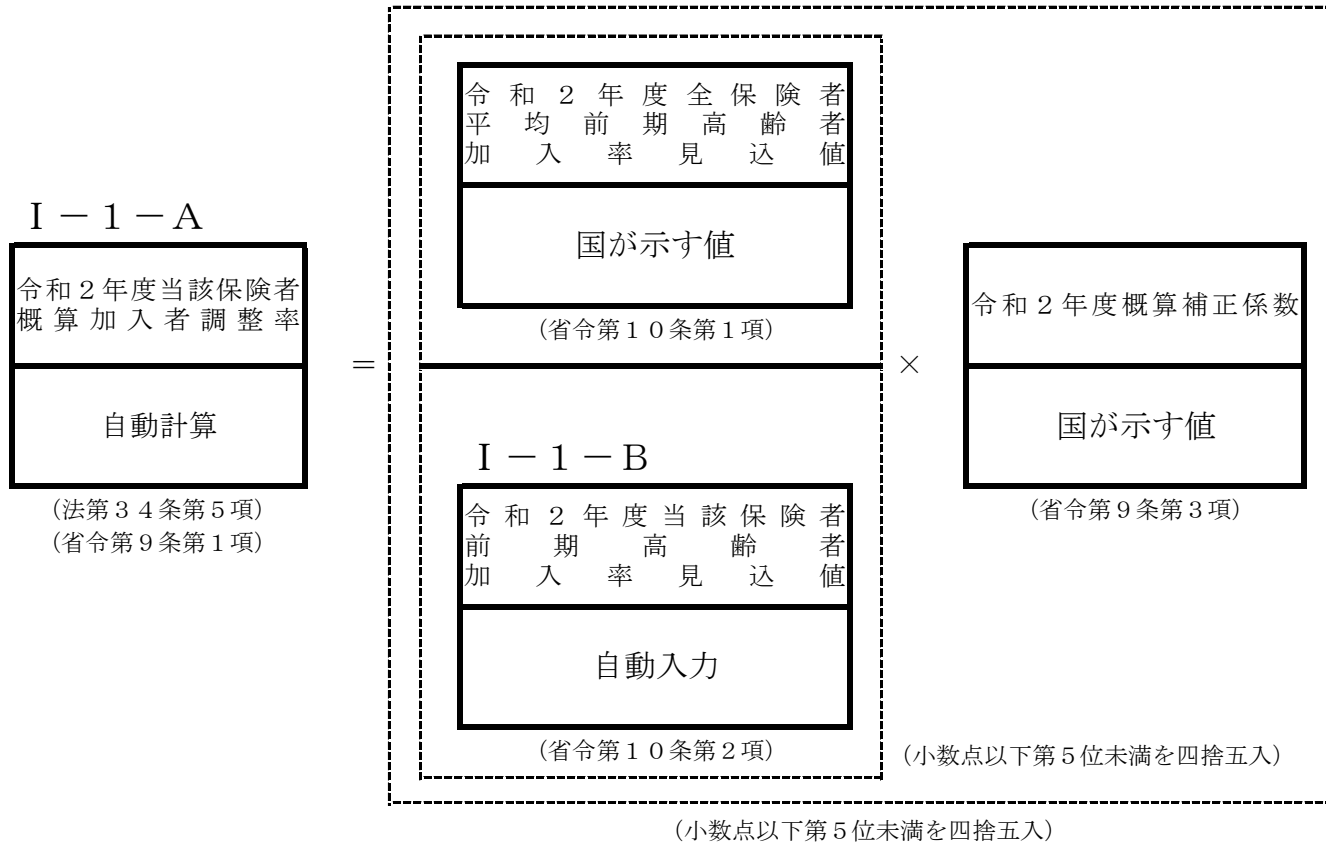
<p>I</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度 当該保険者 概算前期高 齢者交付金 額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動計算</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第1項)</p>	令和2年度 当該保険者 概算前期高 齢者交付金 額	自動計算	円	=	<p>I - 2</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者 調整対象給付費 見込額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第1項第1号)</p>	令和2年度当該保険者 調整対象給付費 見込額	自動入力	円	+	<p>I - 3</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者前期 高齢者に係る後期 高齢者支援金の概算額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第1項第2号)</p>	令和2年度当該保険者前期 高齢者に係る後期 高齢者支援金の概算額	自動入力	円	-	<p>I - 1</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者 概算調整対象基準額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第3項)</p>	令和2年度当該保険者 概算調整対象基準額	自動入力	円
令和2年度 当該保険者 概算前期高 齢者交付金 額																		
自動計算																		
円																		
令和2年度当該保険者 調整対象給付費 見込額																		
自動入力																		
円																		
令和2年度当該保険者前期 高齢者に係る後期 高齢者支援金の概算額																		
自動入力																		
円																		
令和2年度当該保険者 概算調整対象基準額																		
自動入力																		
円																		

I - 1 令和2年度 当該保険者概算調整対象基準額

<p>I - 1</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者 概算調整対象基準額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動計算</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第3項)</p>	令和2年度当該保険者 概算調整対象基準額	自動計算	円	=	<table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>I - 2</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者 調整対象給付費 見込額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第1項第1号)</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">+</td> <td style="width: 45%; vertical-align: top;"> <p>I - 3</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者前期 高齢者に係る後期 高齢者支援金の概算額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第1項第2号)</p> </td> </tr> </table>	<p>I - 2</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者 調整対象給付費 見込額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第1項第1号)</p>	令和2年度当該保険者 調整対象給付費 見込額	自動入力	円	+	<p>I - 3</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者前期 高齢者に係る後期 高齢者支援金の概算額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第1項第2号)</p>	令和2年度当該保険者前期 高齢者に係る後期 高齢者支援金の概算額	自動入力	円	×	<p>I - 1 - A</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者 概算加入者調整率</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動入力</td> </tr> </table> <p>(法第34条第5項)</p>	令和2年度当該保険者 概算加入者調整率	自動入力
令和2年度当該保険者 概算調整対象基準額																		
自動計算																		
円																		
<p>I - 2</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者 調整対象給付費 見込額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第1項第1号)</p>	令和2年度当該保険者 調整対象給付費 見込額	自動入力	円	+	<p>I - 3</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 2px;">令和2年度当該保険者前期 高齢者に係る後期 高齢者支援金の概算額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第34条第1項第2号)</p>	令和2年度当該保険者前期 高齢者に係る後期 高齢者支援金の概算額	自動入力	円										
令和2年度当該保険者 調整対象給付費 見込額																		
自動入力																		
円																		
令和2年度当該保険者前期 高齢者に係る後期 高齢者支援金の概算額																		
自動入力																		
円																		
令和2年度当該保険者 概算加入者調整率																		
自動入力																		

(1円未満の端数を切り捨て)

I-1-A 令和2年度 当該保険者概算加入者調整率



I-1-B 令和2年度 当該保険者前期高齢者加入率見込値

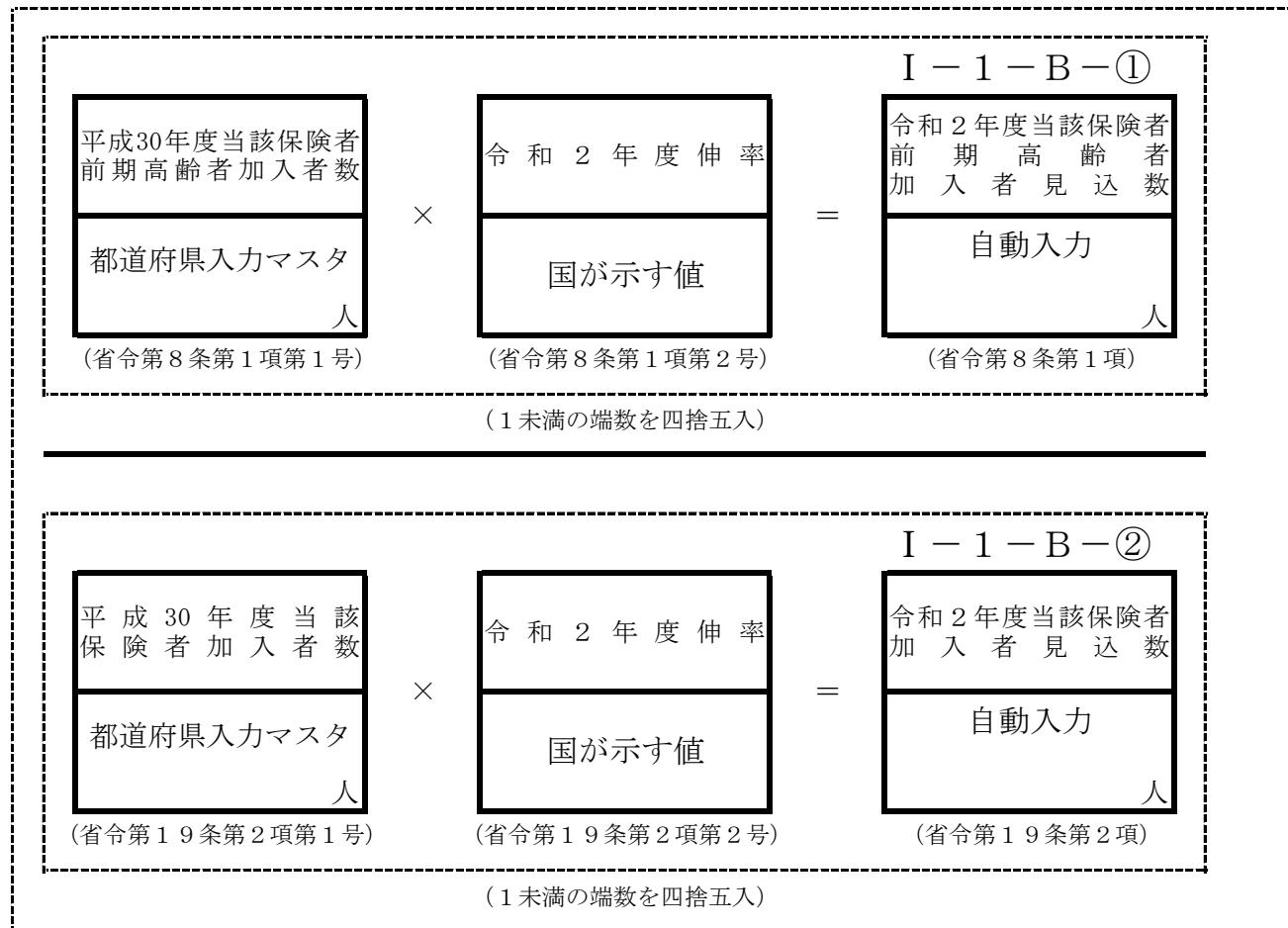
I-1-B

令和2年度当該保険者
前期高齢者
加入率見込値

自動計算

(省令第10条第2項)

=



※ 下限1.00/100に満たない場合は1.00/100とする。(法第34条第5項)

I-2 令和2年度 当該保険者調整対象給付費見込額

I-2

令和2年度当該保険者 調整対象給付費見込額
自動計算
円

(法第34条第1項第1号)

=

I-2-A

令和2年度当該保険者 前期高齢者給付費見込額
自動入力
円

(法第34条第2項第1号)

-

I-2-B

令和2年度当該保険者 調整対象外給付費見込額
自動入力
円

(法第34条第2項第2号)

I-2-A 令和2年度 当該保険者前期高齢者給付費見込額

I-2-A

令和2年度当該保険者 前期高齢者給付費見込額
自動計算
円

(法第34条第2項第1号)
(省令第5条第1項)

=

平成30年度当該保険者 前期高齢者給付費額	×	令和2年度伸率
都道府県入力マスタ		国が示す値
円		

(省令第5条第1項第1号)

(省令第5条第1項第2号)

(1円未満の端数を四捨五入)

I-2-B 令和2年度 当該保険者調整対象外給付費見込額 (当該額が零を下回る場合には、零とする。)

I-2-B

令和2年度当該保険者 調整対象外給付費見込額
自動計算
円

(法第34条第2項第2号)
(省令第6条第1項)

=

I-2-A

令和2年度当該保険者 前期高齢者給付費見込額
自動入力
円

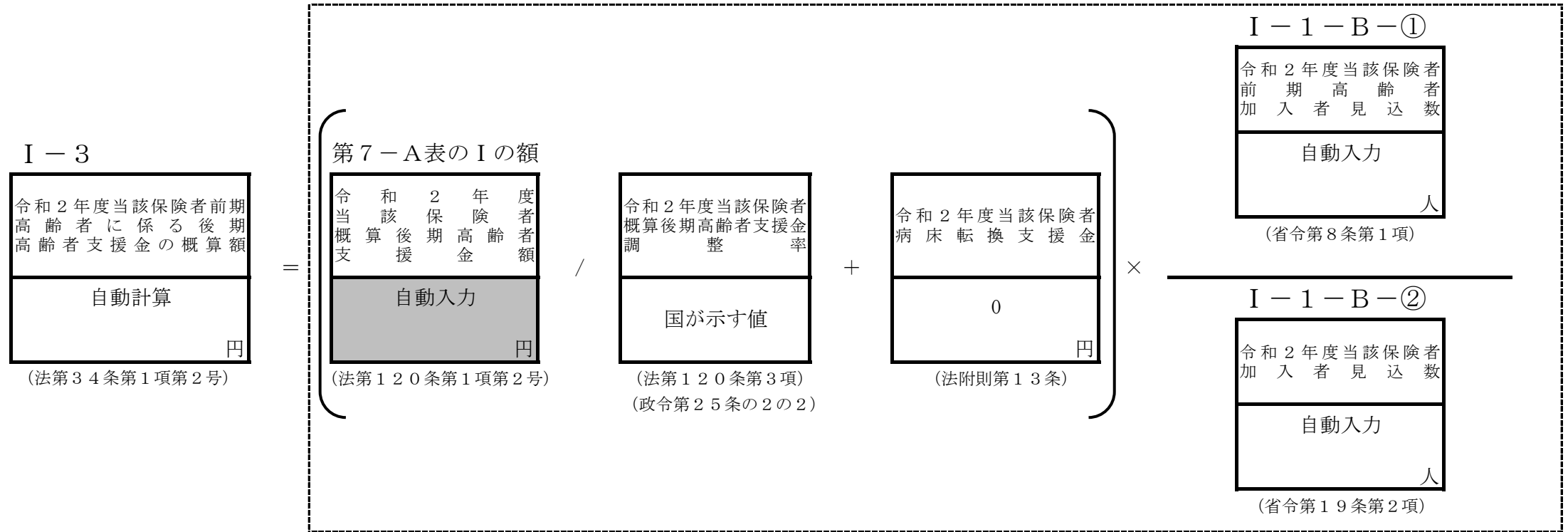
(法第34条第2項第1号)

-

I-1-B-①	×	×	×
自動入力	人	国が示す値	円
(省令第8条第1項)		(法第34条第6項) (省令第11条)	(法第34条第2項第2号)

(1円未満の端数を四捨五入)

I-3 令和2年度 当該保険者前期高齢者に係る後期高齢者支援金の概算額



(1円未満の端数を切り捨て)

Ⅱ 平成30年度 当該保険者 確定前期高齢者交付金額 (当該額が零を下回る場合には、零とする。)

<p>Ⅱ</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者確定前期 高齢者交付金額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動計算</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第1項)</p>	平成30年度 当該保険者確定前期 高齢者交付金額	自動計算	円	=	<p>Ⅱ-2</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第2項)</p>	平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額	自動入力	円	+	<p>Ⅱ-3</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者 前期高齢者に係る後期 高齢者支援金の確定額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第1項第2号)</p>	平成30年度 当該保険者 前期高齢者に係る後期 高齢者支援金の確定額	自動入力	円	-	<p>Ⅱ-1</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者確定調整 対象基準額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第3項)</p>	平成30年度 当該保険者確定調整 対象基準額	自動入力	円
平成30年度 当該保険者確定前期 高齢者交付金額																		
自動計算																		
円																		
平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額																		
自動入力																		
円																		
平成30年度 当該保険者 前期高齢者に係る後期 高齢者支援金の確定額																		
自動入力																		
円																		
平成30年度 当該保険者確定調整 対象基準額																		
自動入力																		
円																		

Ⅱ-1 平成30年度 当該保険者確定調整対象基準額

<p>Ⅱ-1</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者確定調整対象 基準額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動計算</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第3項)</p>	平成30年度 当該保険者確定調整対象 基準額	自動計算	円	=	<table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="width: 35%; vertical-align: top;"> <p>Ⅱ-2</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第2項)</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">+</td> <td style="width: 35%; vertical-align: top;"> <p>Ⅱ-3</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者 前期高齢者に係る後期 高齢者支援金の確定額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第1項第2号)</p> </td> </tr> </table>	<p>Ⅱ-2</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第2項)</p>	平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額	自動入力	円	+	<p>Ⅱ-3</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者 前期高齢者に係る後期 高齢者支援金の確定額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第1項第2号)</p>	平成30年度 当該保険者 前期高齢者に係る後期 高齢者支援金の確定額	自動入力	円	×	<p>Ⅱ-1-A</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者 確定加入者調整率</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> </table> <p>(法第35条第5項)</p>	平成30年度 当該保険者 確定加入者調整率	自動入力
平成30年度 当該保険者確定調整対象 基準額																		
自動計算																		
円																		
<p>Ⅱ-2</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第2項)</p>	平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額	自動入力	円	+	<p>Ⅱ-3</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: left;"> <tr> <td style="padding: 5px;">平成30年度 当該保険者 前期高齢者に係る後期 高齢者支援金の確定額</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">自動入力</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">円</td> </tr> </table> <p>(法第35条第1項第2号)</p>	平成30年度 当該保険者 前期高齢者に係る後期 高齢者支援金の確定額	自動入力	円										
平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額																		
自動入力																		
円																		
平成30年度 当該保険者 前期高齢者に係る後期 高齢者支援金の確定額																		
自動入力																		
円																		
平成30年度 当該保険者 確定加入者調整率																		
自動入力																		

(1円未満の端数を切り捨て)

II-1-A 平成30年度 当該保険者確定加入者調整率

II-1-A

平成30年度 当該保険者 確定加入者調整率
自動計算

(法第35条第5項)
(省令第15条により準用された
省令第9条第1項)

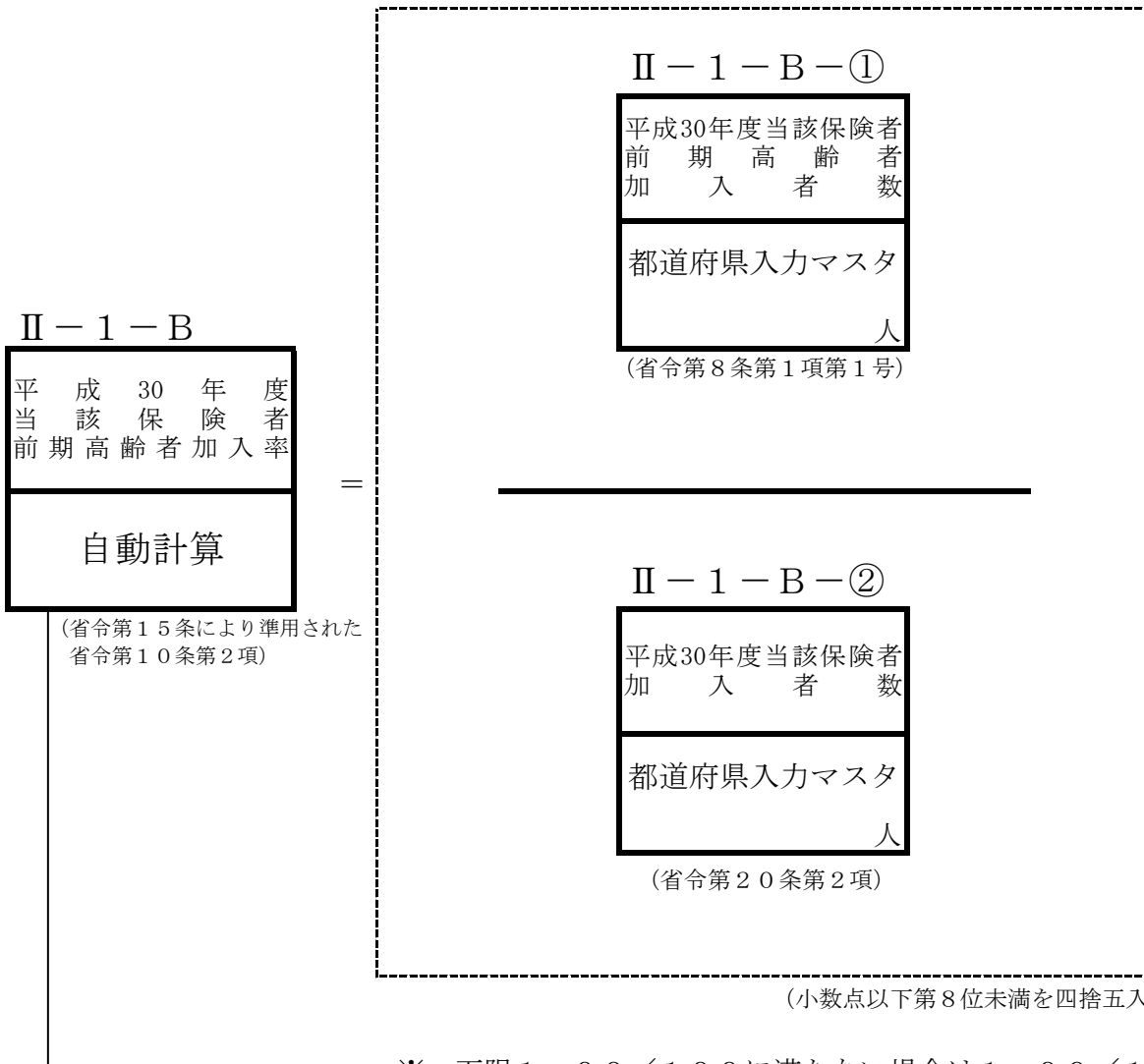
=

<table border="1"> <tr> <td>平成30年度全保険者 平均前期高齢者率 加入</td> </tr> <tr> <td>国が示す値</td> </tr> </table> <p>(省令第15条により準用された 省令第10条第1項)</p>	平成30年度全保険者 平均前期高齢者率 加入	国が示す値	×	<table border="1"> <tr> <td>平成30年度 確定補正係数</td> </tr> <tr> <td>国が示す値</td> </tr> </table> <p>(省令第15条により準用された 省令第9条第3項)</p>	平成30年度 確定補正係数	国が示す値
平成30年度全保険者 平均前期高齢者率 加入						
国が示す値						
平成30年度 確定補正係数						
国が示す値						
<p>II-1-B</p> <table border="1"> <tr> <td>平成30年度当該保険者 前期高齢者率 加入</td> </tr> <tr> <td>自動入力</td> </tr> </table> <p>(省令第15条により準用された 省令第10条第2項)</p>			平成30年度当該保険者 前期高齢者率 加入	自動入力		
平成30年度当該保険者 前期高齢者率 加入						
自動入力						

(小数点以下第5位未満を四捨五入)

(小数点以下第5位未満を四捨五入)

Ⅱ－１－Ｂ 平成30年度 当該保険者前期高齢者加入率



※ 下限1.00/100に満たない場合は1.00/100とする。(法第35条第5項)

Ⅱ－２ 平成30年度 当該保険者調整対象給付費額

Ⅱ－２

平成30年度 当該保険者 調整対象給付費額
自動計算
円

(法第35条第2項)

=

Ⅱ－２－Ａ

平成30年度当該保険者 前期高齢者給付費額
自動入力
円

(法第35条第2項第1号)

－

Ⅱ－２－Ｂ

平成30年度当該保険者 調整対象外給付費額
自動入力
円

(法第35条第2項第2号)

Ⅱ－２－Ａ 平成30年度 当該保険者前期高齢者給付費額

Ⅱ－２－Ａ

平成30年度当該保険者 前期高齢者給付費額
自動入力
円

(法第35条第2項第1号)

=

平成30年度当該保険者 前期高齢者給付費額
都道府県入力マスタ
円

(省令第12条第1項)

Ⅱ－２－Ｂ 平成30年度 当該保険者調整対象外給付費額 (当該額が零を下回る場合には、零とする。)

Ⅱ－２－Ｂ

平成30年度当該保険者 調整対象外給付費額
自動計算
円

(法第35条第2項第2号)
(省令第13条第1項)

=

Ⅱ－２－Ａ

平成30年度当該保険者 前期高齢者給付費額
自動入力
円

(法第35条第2項第1号)

－

Ⅱ－１－Ｂ－①			
平成30年度当該保険者 前期高齢者 加入者数	×	平成30年度全保険者 1人平均前期高齢者 給付費額	×
自動入力		国が示す値	
人		(法第35条第6項) (省令第16条)	
(省令第8条第1項第1号)			平成30年度 調整対象外基準率
			国が示す値
			(法第35条第2項第2号)

(1円未満の端数を四捨五入)

Ⅱ－３ 平成30年度 当該保険者前期高齢者に係る後期高齢者支援金の確定額

Ⅱ－３

平成30年度当該保険者 前期高齢者に係る後期 高齢者支援金の確定額
自動計算
円

(法第35条第1項第2号)

=

<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">第7-A表のⅡの額</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">平成30年度当該保険者 確定後期高齢者 支援金額</td> <td style="width: 50%;">平成30年度当該保険者 確定後期高齢者支援金 調整率</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自動入力</td> <td style="text-align: center;">国が示す値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">円</td> <td style="text-align: right;">(法第121条第2項) (政令第25条の3)</td> </tr> </table>	第7-A表のⅡの額		平成30年度当該保険者 確定後期高齢者 支援金額	平成30年度当該保険者 確定後期高齢者支援金 調整率	自動入力	国が示す値	円	(法第121条第2項) (政令第25条の3)	/	+	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平成30年度当該保険者 病床転換支援金</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </table>	平成30年度当該保険者 病床転換支援金	0	円	×	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">Ⅱ－1-B-①</td> </tr> <tr> <td>平成30年度当該保険者 前期高齢者加入者数</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自動入力</td> <td style="text-align: right;">(省令第8条第1項第1号)</td> </tr> </table>	Ⅱ－1-B-①		平成30年度当該保険者 前期高齢者加入者数	人	自動入力	(省令第8条第1項第1号)
第7-A表のⅡの額																						
平成30年度当該保険者 確定後期高齢者 支援金額	平成30年度当該保険者 確定後期高齢者支援金 調整率																					
自動入力	国が示す値																					
円	(法第121条第2項) (政令第25条の3)																					
平成30年度当該保険者 病床転換支援金																						
0																						
円																						
Ⅱ－1-B-①																						
平成30年度当該保険者 前期高齢者加入者数	人																					
自動入力	(省令第8条第1項第1号)																					
(1円未満の端数を切り捨て)																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">Ⅱ－1-B-②</td> </tr> <tr> <td>平成30年度当該保険者 加入者数</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自動入力</td> <td style="text-align: right;">(省令第20条第2項)</td> </tr> </table>						Ⅱ－1-B-②		平成30年度当該保険者 加入者数	人	自動入力	(省令第20条第2項)											
Ⅱ－1-B-②																						
平成30年度当該保険者 加入者数	人																					
自動入力	(省令第20条第2項)																					
(1円未満の端数を切り捨て)																						

全国土木建築国民健康保険組合のみ以下の取扱に留意すること。

- 「平成30年度後期高齢者支援金の加算対象保険者への該当について」により、加算対象保険者に該当した旨を通知された場合は、通知に記載の加算率を用いること。
- 「平成30年度後期高齢者支援金の減算対象保険者への該当について」により、減算対象保険者に該当した旨を通知された場合は、通知に記載の減算率を用いること。
- 加算対象保険者又は減算対象保険者に該当した旨を通知されていない場合は、平成30年度加算・減算制度の対象外保険者であるため、「100分の100」を用いること。

Ⅲ 令和2年度 当該保険者前期高齢者交付調整金額の算定式

Ⅲ

令和2年度当該保険者 前期高齢者 交付調整金額
自動計算 円

(法第33条第2項)

=

平成30年度当該保険者 概算前期高齢者 交付金額	—	平成30年度当該保険者 確定前期高齢者 交付金額	×	令和2年度前期高齢者 交付算定率
都道府県入力マスタ 円		自動入力 円		国が示す値 (省令第3条)

Ⅱ

平成30年度当該保険者 確定前期高齢者 交付金額
自動入力 円

(法第35条第1項)

(1円未満の端数を切り捨て)

【第10表】介護納付金額算定手順

1. 令和2年度納付金額の算定式

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年度納付金額} \\ \hline \text{自動計算} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年度概算納付金} \\ \hline \text{自動入力} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} - \left(\begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度概算納付金} \\ \hline \text{介護給付費・地域支援事業支援} \\ \text{納付金額(医療保険者別)の本年} \\ \text{度①概算納付金の値(合計)} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度確定納付金} \\ \hline \text{自動入力} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} \right) + \begin{array}{|c|} \hline \text{調整金額} \\ \hline \text{自動入力} \quad \text{円} \\ \hline \end{array}$$

※1

2. 令和2年度概算納付金の算定式

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年度概算納付金} \\ \hline \text{自動計算} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年度第2号被保険者} \\ \text{1人当たり負担見込額} \\ \hline \text{国が示す値} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} \times \left(\begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \text{第2号被保険者数} \\ \hline \text{第2号被保険者数等報} \\ \text{告書(様式第六号)} \\ \text{にて計算後の値} \quad \text{人} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{見込伸び率} \\ \hline \text{国が示す値} \\ \hline \end{array} \right)$$

(1未満の端数を四捨五入)

※2

3. 平成30年度確定納付金の算定式

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度確定納付金} \\ \hline \text{自動計算} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度第2号} \\ \text{被保険者1人当たり負担額} \\ \hline \text{国が示す値} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度} \\ \text{第2号被保険者数} \\ \hline \text{第2号被保険者数等報} \\ \text{告書(様式第六号)} \\ \text{にて計算後の値} \quad \text{人} \\ \hline \end{array}$$

※3

4. 調整金額の算定式

※4

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{調整金額} \\ \hline \text{自動計算} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} = \left(\begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度概算納付金} \\ \hline \text{介護給付費・地域支援事業支援} \\ \text{納付金額(医療保険者別)の本} \\ \text{年度①概算納付金の値(合計)} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{平成30年度確定納付金} \\ \hline \text{自動入力} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} \right) \times \begin{array}{|c|} \hline \text{算定率} \\ \hline \text{国が示す値} \\ \hline \end{array}$$

※1

※1 ※2 ※3

設定手順は、「国保事業費納付金等算定標準システム 運用管理マニュアル(都道府県向け)」の「3.1.2(6) 都道府県入力マスターメンテナンスの運用」を参照ください。

※2「第2号被保険者数」は、※3「第2号被保険者数」と同じ数となるが、第2号被保険者数の過大又は過小補正申請を行い承認された場合にあつては、その数とする。

※4 概算納付金と確定納付金の差額により発生する利息額

「平成30年度概算納付金」≥「平成30年度確定納付金」の場合は、超過額と併せて「令和2年度概算納付金」より控除される。

「平成30年度概算納付金」<「平成30年度確定納付金」の場合は、不足額と併せて「令和2年度概算納付金」に加算される。

5. 令和2年度介護納付金に係る国庫負担金の算定式

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年度介護納付金に係る} \\ \text{国庫負担金} \\ \hline \text{自動計算} \quad \text{円} \\ \hline \end{array} = 0.32 \times \begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年度納付金額} \\ \hline \text{自動入力} \quad \text{円} \\ \hline \end{array}$$

(1円未満の端数を切り捨て)